

## まえがき

おつ市教育委員会では、平成28年11月に「おつ市教育大綱」を策定し、【1 学力の向上】、【2 体育・健康教育の充実】、【3 夢を育む教育】、【4 地域とともにある学校】の4つの柱を機軸に据えて、おつ市の子どもたちの未来のために各種教育施策の充実に努めております。

こうした取組は、様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきておりますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされております。

おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を充実させ、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、御理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育大綱事業実施計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和2年8月

おつ市教育委員会

# 目 次

◇まえがき	1
◇点検・評価に当たって	4
◇むつ市教育大綱の概要	6
◇令和元年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要	8

## 1 総務課

(重点項目)

(1) 安全・安心な教育環境の整備	9
(2) 教職員の適正・適切な配置	1 3
(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編	1 3
(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討	1 4
(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	1 4
(6) コミュニティ・スクール制度の推進	1 6
(7) 奨学金制度の充実	1 7
(8) 学校保健の充実	1 8
(9) 学校給食の充実	2 2

## 2 生涯学習課

(重点項目)

(1) 生涯学習の推進	2 3
(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	2 5
(3) 社会教育施設の機能充実	2 6
(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	2 8
(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	2 9

## 3 学校教育課

(重点項目)

(1) 小中一貫教育の充実	3 5
(2) 質の高い教育課程の創造	3 7
(3) 学力向上対策の充実	3 7
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	4 0
(5) 特別支援教育体制の充実	4 2
(6) 教育相談活動の充実	4 3
(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する 愛着と誇りを涵養する教育の推進	4 5
(8) 教育研修センター講座等の充実	4 7

(9) 弘前大学との連携強化	4 8
(10) キャリア教育の充実	4 9

#### 4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

（重点項目）

(1) 公民館の適正管理と運営の充実	5 4
(2) 公民館事業の推進	5 5
(3) 社会教育団体等の育成支援	6 1
(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	6 4
(5) 視聴覚ライブラリーの充実	6 6

#### 5 図書館

（重点項目）

(1) 図書館施設の適正管理	6 7
(2) 図書館サービス活動の充実	6 8
(3) 利用者ニーズに即した資料整備	7 3
(4) 子どもの読書活動の推進	7 4
◇点検・評価対象一覧	7 6

## ◇ 点検・評価に当たって

### 1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育大綱事業実施計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

#### (2) 点検・評価の対象

令和元年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために令和元年度に実施した具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、重点項目ごとに自己評価を行い、その評価に基づき、5つの施策ごとの総括的な評価を行いました。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等からなる「点検・評価アドバイザー」に参集いただいた上で、その実施方法や内容について意見をいただき、報告書の作成を行ってまいりましたが、今年度は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、事前に配布した報告書（案）に対する助言・指導を書面によりいただく形で作成しました。

なお、いただいた意見のほとんどは報告書に反映させておりますが、今年度反映できなかった一部の意見については、来年度以降、引き続き検討を行うこととしています。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は〔1 総務課〕、〔2 生涯学習課〕、〔3 学校教育課〕、〔4 公民館〕、〔5 図書館〕の施策ごとに構成しています。

#### (2) 重点項目の点検（令和元年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

#### (3) 重点項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

各重点項目について、具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、成果・課題等を評価していません。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆令和2年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
大見竜人	むつ市連合PTA会長
北村昭彦	元大平小学校長
古川俊子	元むつ市教育部長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

・点検・評価アドバイザー会議（書面開催）

- 〈内容〉
- ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
  - ・点検及び評価の実施方法に関する意見について
  - ・質疑等に対する回答担当課：総務課、生涯学習課、学校教育課、公民館、図書館

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・字句・文章の言い回し・表現等の修正、字の大きさ、ページレイアウトの統一・調整
- ・前年度からの推移がわかるような表の追加(総務課 肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率)
- ・事業ごとに「課題」「今後の方針」を示すことにより、各事業の成果を把握しやすくなった。

〈次年度以降、引き続き検討することとした主な意見〉

- ・アンケート調査の活用と結果公表
- ・各種委員の資質向上及び選任方法の見直し
- ・他課・館(市長部局を含む)と重複する事業の統合・調整
- ・実績・成果における事業の費用対効果の検証
- ・子どもたちの悩み、不安を払拭できる体制の整備

その他、教育行政全般にわたり、適切な指導・助言をいただいた。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ◇むつ市教育大綱の概要

### 1 学力の向上

#### ① 明確な目標設定

「むつ市教育プラン」に具体的な数値目標を定め、P D C Aを着実に実践します。

#### ② 主体的な学習の推進

「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）の視点で多様な学習活動に取り組みます。

#### ③ 教育環境の整備

校舎の長寿命化を図り、施設の維持・整備を進め、全ての子供たちにとって快適な学習環境の整備に努めます。

#### ④ 教職員の資質向上

新たな課題にも適切に対応できる力量を持った教職員が、チームとして子供たちの成長や発達を支援できるよう、学校内外での研修体制の整備・充実に努めます。

#### ⑤ 幼保小連携

幼児教育、義務教育の相互理解を深め、充実した幼児教育につなげていきます。

### 2 体育・健康教育の充実

#### ① 健康な体を育む学校づくり

健康についての正しい知識を身に付けさせ、自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てます。

#### ② 安全・防災教育の推進

起こり得る危険を理解し、いかなる状況においても、子供たちが自ら安全に関する情報を正しく判断し、安全に行動できるような資質・能力を育てます。

#### ③ スポーツ環境整備

子供たちがスポーツに親しむ環境を充実させるとともに、スポーツを通じて子供たちの夢を育てていきます。

### 3 夢を育む教育

#### ① 学力の保障を通じた生きる力の育成

子供一人一人の良さや可能性を引き出す教育の充実に努め、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、学んだことを自分の人生や社会に生かそうとする豊かな人間性を育てていきます。

#### ② キャリア教育の充実

自分の生き方について自覚を深め、急速な社会の変化に適切に対応するため、キャリア教育のさらなる充実に努めます。

#### ③ 特別支援教育の充実

個々の状態に応じたきめ細かい指導・支援を更に充実させるとともに、進路に関する必要な情報を提供するなど教育相談体制の充実に努めていきます。

#### ④ 豊かな心の育成

他者への思いやりなど豊かな心の育成に努めるとともに、子供たちがいじめについて自ら考える機会を提供し、学校でのいじめ防止に向けて不断の取組を続けます。

#### **4 地域とともにある学校**

##### **① 家庭・地域との連携強化**

家庭や地域からの声を学校経営に反映させるよう努め、「開かれた学校づくり」「地域とともにある学校」を目指していきます。

##### **② 多様な学習機会の提供**

変化する市民のニーズを的確に捉えた上で実施事業を整理し、市民が生涯を通じて学んでいくために、真に必要とされる学習機会の提供に努めていきます。

##### **③ 廃校校舎の利活用**

「むつ市公共施設等総合管理計画」の趣旨に留意しながら、その利活用と解体を計画的に進めていきます。

##### **④ ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育**

文化財、伝統芸能などの地域資源について学び、知識を得ることができるよう学習機会の提供を推進します。

## ◇令和元年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要

この「むつ市教育大綱事業実施計画」は、「むつ市教育大綱」に示した理念を実現するために、大綱の趣旨に沿って教育委員会で実施する事業の具体的な実施計画となります。また、子供たちを育む家庭、学校、地域社会に期待される役割を明らかにし、事業を計画・実施するための基本的な指針としていきます。

計画には、各所属において毎年度の予算に基づき実施する事業を明記し、当該年度において着実に実施するとともに、実施した事業について毎年度検証及び評価を行い、子供たちにとってよりよい施策となるよう努めるものとします。

### 【各所属における重点項目】

#### 1 総務課

子供が豊かな心を持ち、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育成するための教育環境の整備を推進する。また、活力ある学校教育を推進するため、教職員の適切な配置を図るとともに、その他教育環境の整備と保健衛生及び学校給食の充実を図る。

#### 2 生涯学習課

市民が生涯にわたって、自己の能力と可能性を最大限に高め、多くの人々と協働し、生きがいのある充実した生活を送り、豊かで住みよい地域社会をつくり出すことができるように「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境の充実と、学びを活かした社会参加活動を支援していく。

また、地域に根ざした民俗芸能・伝統文化の継承活動を支援するとともに、自主的かつ主体的な芸術文化活動を推進する。併せて、文化財の保護・保存と活用に努める。

#### 3 学校教育課

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、校長の強力なリーダーシップのもと、「教育は人づくり」という視点に立ち、全教職員が協働して特色ある学校運営を図り、「郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ」学校教育の推進に努める。

#### 4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

市民に最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、公民館活動の充実に努める。

#### 5 図書館

市民の多様化する学習意欲に応えるための施設として、快適な読書環境の保全に努めるとともに、多種多様な資料や情報等の積極的な収集・整備による読書活動の拠点として図書館機能の充実を図り、地域の教育・文化の向上発展に寄与する。

# 1 総務課

## 【重点項目】

- (1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備
- (2) 教職員の適正・適切な配置
- (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (6) コミュニティ・スクール制度の推進
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

### ■ 重点項目の点検（令和元年度の具体的な取組状況） ■

#### (1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備

事業名	スクールバス運行管理事業		
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。		
計画	<p>○下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関根地区（烏沢）</li> <li>・奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢）</li> <li>・大湊地区（角違・城ヶ沢）</li> <li>・川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川）</li> <li>・大畑地区（小目名・釣屋浜）</li> <li>・脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢）</li> </ul> <p>※計画人数：190人</p>	実績・成果	<p>○運行時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関根地区：22人</li> <li>・奥内地区：23人</li> <li>・大湊地区：28人</li> <li>・川内地区：56人</li> <li>・大畑地区：33人</li> <li>・脇野沢地区：16人</li> <li>合計：178人</li> </ul>
予算	<p>予算総額 91,403,000 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関根地区 7,431,000 円</li> <li>奥内地区 15,718,000 円</li> <li>大湊地区 11,547,000 円</li> <li>川内地区 26,395,000 円</li> <li>大畑地区 14,441,000 円</li> <li>脇野沢地区 15,871,000 円</li> </ul>	決算	<p>決算総額 89,877,694 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関根地区 7,417,668 円</li> <li>奥内地区 15,565,200 円</li> <li>大湊地区 11,307,006 円</li> <li>川内地区 25,887,500 円</li> <li>大畑地区 14,440,320 円</li> <li>脇野沢地区 15,260,000 円</li> </ul> <p>※決算総額のうち、1,890,000円は国庫補助額</p>
課題	感染症等の対策に向けた各事業者への対応依頼の徹底	今後の方針	二枚橋小学校閉校による大畑地区における路線拡張に向けて、適正な路線を計画する。

#### ※参考：スクールバス運行経路

地区	運行区間	地区	運行区間
関根地区	烏沢～川代～関根小	大畑地区	小目名～関根橋～正津川～大畑小～大畑中
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小		釣屋浜～孫次郎間～大畑中
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小	脇野沢地区	源藤城～滝山～脇野沢小・中
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・中 蛸崎～宿野部～川内小・中 湯野川～安部城～川内小・中		九艘泊～寄浪～脇野沢小・中 小沢～稲平～脇野沢小・中

事業名		教育用パソコン等賃貸借事業	
概要	経年劣化及び2020年1月Windows7サポート終了のため、市内小中学校22校の教育用パソコンを更新する。		
計画	○令和元年度 小中学校パソコン賃貸借 小学校372台 中学校270台 計642台	実績・成果	○令和元年度 小中学校パソコン賃貸借 小学校372台 中学校255台 計627台
予算	予算総額 29,024,234 円 (内訳) 小学校PC等賃貸借 16,517,728 円 小学校周辺機器購入 481,572 円 中学校PC等賃貸借 11,715,352 円 中学校周辺機器購入 309,582 円	決算	決算総額 17,529,151 円 (内訳) 小学校PC等賃貸借 10,047,840 円 小学校周辺機器購入 372,254 円 中学校PC等賃貸借 6,896,340 円 中学校周辺機器購入 212,717 円
課題	教育用パソコンのプログラム更新について、頻度が多く、難易度が高いため、市教委及び教職員の大きな負担となっている。	今後の方針	GIGAスクール構想の実現における児童生徒1人1台端末の整備について、左記課題を含め、対応する。 令和元年度：627台賃貸借 令和2年度：3,066台購入 令和3年度：445台購入、保守開始 令和4年度：448台購入（児童生徒1人1台整備完了）

事業名		関根中学校解体事業	
概要	関根中学校は、昭和38年に建設された木造二階建てで、老朽化が著しく環境が劣悪だったため、平成30年度関根小学校へ校舎棟を増築し、新校舎で供用を開始したため、旧校舎を解体し、保有施設の縮減を図る。		
計画	○平成28年度 実施設計 (関根中学校建設事業へ含む) ○令和元年度 単価入替業務委託 ○令和元年度 解体工事	実績・成果	○平成28年度 実施設計 (関根中学校建設事業へ含む) ○令和元年度 単価入替業務委託 ○令和元年度 解体工事
予算	予算総額 60,681,500 円 (内訳) 単価入替 423,500 円 解体工事 60,258,000 円 予算総額は令和元年のみの金額	決算	決算総額 50,949,999 円 (内訳) 単価入替 349,999 円 解体工事 50,600,000 円 決算総額は令和元年のみの金額
課題	解体後の敷地の利活用について検討する必要がある。	今後の方針	敷地の利活用について検討していく。



関根中学校解体事業 施工前



関根中学校解体事業 施工後

事業名		新入学児童用防犯ブザー購入事業	
概要	令和2年度新入学児童に対し、就学時における安全を確保するため、防犯ブザーを配布する。		
計画	○令和2年度新入学児童に児童用防犯ブザーを購入し、配布する。	実績・成果	○(株)青森テレビ様より防犯ブザー(じん子ちゃんブザー)450個を寄贈いただいた為、全小学1年生402名への配布のみ行った。
予算	予算総額 329,000 円 (内訳) 購入費 329,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 0 円
課題	なし	今後の方針	引き続き事業を継続する。

事業名		まさかり高校医学部進学・特進コース事業	
概要	むつ下北地域の学力向上と医師不足解消を目的として、むつ下北活性化応援プロジェクトである「まさかり高校」の中に医学部進学・特進コースを開設し、医師や国立大学等選抜制の高い大学への進学を希望する高校生を対象に、大手予備校講師を招聘し、難関大学合格に向けた、レベルの高い学習の場を提供する。		
計画	○予備校講師派遣プログラム(4回) 夏：40人 冬：20人 2次試験対応：20人 春：40人 ○東京大学見学ツアー：30人	実績・成果	○予備校講師派遣プログラム(3回) 夏：32人 冬：11人 2次試験対応：4人 春：中止 ○東京大学見学ツアー：21人 ○東京大学1名を含む、国公立大学へ11名の合格者を輩出
予算	予算総額 5,097,000 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 500,000 円 需用費 0 円 委託料 4,597,000 円	決算	決算総額 3,825,226 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 217,520 円 需用費 0 円 委託料 3,607,706 円
課題	成果を挙げながら事業を継続させていくためには、市内高等学校の理解と協力が必要である。	今後の方針	高校からは、1年生の時点から講師派遣プログラムを積極的に受講させたい旨の要望があったことから、当該部分について拡充させる方向で検討していく。



まさかり高校 夏期講習



まさかり高校 冬期講習

事業名	下北Project (学びのイノベーション) 事業		
概要	<p>東京大学との連携を主軸とした「下北から東大」・「下北からプロ選手」・「下北からベンチャー」という3つのキーワードの実現を目指す。</p> <p>下北の課題と、大学の理念である研究成果の社会実装を推進するため、双方が協働した「学びのイノベーション」を起こす。</p>		
計画画面	<p>「下北から東大」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東大生を当市に派遣してもらい小中学生に対し、勉強法の指導等を実施</li> </ul> <p>「下北からプロ選手」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京大学の特任研究員である桑田真澄氏による指導者講習会、野球教室等の実施</li> </ul> <p>「下北からベンチャー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>起業創業に関わる者を招いての後援会等の実施</li> </ul>	実績・成果	<p>「下北から東大」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏季及び冬季における「まさかり寺子屋」の実施 合計118名参加</li> </ul> <p>「下北からプロ選手」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者講習会等×3回 合計197名参加</li> <li>野球教室（東大デモ含む） 合計250名参加</li> </ul> <p>「下北からベンチャー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本政策金融公庫によるビジコン説明会 合計3名参加</li> <li>東大関係者起業後援会（大間高校において実施） 合計123名参加</li> </ul>
予算	<p>予算総額 20,000,000 円</p> <p>(内訳) 負担金 20,000,000 円</p>	決算	<p>決算総額 20,000,000 円</p> <p>(内訳) 負担金 20,000,000 円</p>
課題	<p>児童生徒の参加を考えた場合夏季及び冬季の長期休業期間中の対応となり、事業が集中してしまう。</p> <p>「下北からベンチャー」に関しては高校の協力が必要不可欠であるため、関係作りから再度見直し、学習の1コマとして対応ができないか検討が必要。</p>	今後の方針	<p>東京大学硬式野球部の合宿を目玉とした新規事業の実施を検討し、学生の流入に伴う児童生徒との交流事業を積極的に実施</p> <p>下北ジュニアウインドオーケストラを中心とした文化部活動にも着目した対応を検討</p> <p>開催場所もむつ市に限らず、大間地区での実施を検討</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い現時点では令和2年度事業は白紙</p>



「下北から東大」まさかり寺子屋



「下北からプロ選手」桑田真澄氏による野球教室

事業名	その他小中学校の施設・設備の整備事業		
概要	昭和61年建設の田名部中学校外部倉庫は、老朽化に伴い修繕が困難となっていたことから解体し、同規模のプレハブへ建替する。		
計画	○令和元年度 解体・新設工事	・実績 成果	○令和元年度 解体・新設工事
予算	予算総額 5,652,500 円 (内訳) 解体・新設 5,652,500 円	決算	決算総額 5,280,000 円 (内訳) 解体・新設 5,280,000 円
課題	学校の施設や設備については、学校関係者と連携のとれた維持管理が重要となる。	今後の方針	学校関係者と連携をとり、適切な維持管理に努める。

## (2) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理		
概要	より良い環境をつくるため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。		
計画	○県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。 ○代替教員の配置を適正に行う。	実績 成果	○人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ○代替教員の配置については、人材が確保できず配置できない学校もあった。
予算	0 円	決算	0 円
課題	○通常学級において、個別の支援を要する児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。 ○交通事故が前年度比でほぼ倍増（6件→11件）した。	今後の方針	○引き続き、市のスクールサポーターによる対応の強化に努めていくほか、教科指導のできる教員の増員について、県教委へ要望していく。 ○引き続き、服務規律確保の徹底について強く指導していく。

## (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会の設置		
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
計画	○必要に応じて行う	・実績 成果	○なし
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
課題	なし	今後の方針	現在、審議対象がなく、設置されていないが、審議対象が生じた場合設置する。

#### (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校規模適正化のための地域説明会等の開催		
概要	むつ市教育プランに沿ったよりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。		
計画	○大畑地区の正津川小学校及び二枚橋小学校について説明会を開催する。	実績・成果	○保護者・住民説明会 ・正津川小学校 開催日：令和元年10月18日 参加者：保護者約10名  ※説明会后、令和元年度中にアンケートが終了しており、それを基にして令和2年度の説明会を開催する予定となっており、現時点では公表できる段階でないことから結果は記載していない。  ※平成30年度において、二枚橋小学校の保護者及び地域住民より2021年度末（令和3年度末）をもって閉校することによって同意していただいた。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
課題	正津川小学校について、統合に向けて保護者及び地域住民の合意を得る必要がある。	今後の方針	正津川小学校については、保護者、地域とも学校統合について合意に至らなかったため、引き続きねばり強く説明していく。

#### (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して修学旅行費を給付し就学の援助を図る。（生活保護受給世帯）		
計画	○対象者：19人 ○支給額：1,305,000円	・実績	○対象者：15人 ○支給額：1,003,800円
予算	予算総額 1,305,000 円 (内訳) 小学生(9名) 405,000 円 中学生(10名) 900,000 円	決算	決算総額 1,003,800 円 (内訳) 小学生(8名) 373,800 円 中学生(7名) 630,000 円
課題	年度途中で要保護対象者となる場合があるため、生活福祉課との連携が必要となる。	今後の方針	引き続き生活福祉課との連携をしっかりと行う。

事業名		準要保護児童生徒援助事業	
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。		
計画	○対象者：486人 ○支給額：50,870,000円	実績	○対象者：449人 ○支給額：41,496,174円
予算	予算総額 50,869,576 円 (内訳) 学用品費 9,088,000 円 新入学学用品費 5,015,000 円 修学旅行費 8,145,000 円 校外活動費 642,600 円 給食費 27,978,976 円	決算	決算総額 41,496,174 円 (内訳) 学用品費 7,795,374 円 新入学学用品費 4,331,000 円 修学旅行費 5,773,500 円 校外活動費 270,180 円 給食費 23,326,120 円
課題	認定基準の拡大や支給費目の拡大に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているので、財務部とも協議の上、検討していく必要がある。	今後の方針	支給費目等の拡大について、引き続き検討していく。

事業名		医療的ケア児童生徒就学支援事業	
概要	医療的ケアを必要とする児童生徒の健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るため、訪問看護師の派遣による専門的な処置を行う。		
計画	○対象児童：1名 ○委託先団体： 1. 社会福祉法人 青森社会福祉振興団 2. 一般社団法人 公済会 訪問看護ステーションやまびこ 3. 訪問看護ステーションむつ  ○委託料（単価契約） ・週3日まで @5,550×120日=666,000円 ・週4日以降 @6,550×80日=524,000円 ・延長料金（1日6時間） @5,200×5回=26,000円 ・緊急訪問看護加算 @2,650×5日=13,250円	実績・成果	○対象者：1名 （医療的ケア指示期間 2018年10月29日～2019年4月28日） 対象児童は1名（第三田名部小学校第3学年（当時））で、平成30年8月に気管カニューレの取り外し手術が行われたが、平成31年4月末まで経過観察を継続した。  ○事業額：76,150円 青森社会福祉振興団 みちのく訪問看護ステーション  4月分 76,150円 ・週3日まで 5,550×9回=49,950円 ・週4日以上 6,550×4回=26,200円
予算	予算総額 1,229,250 円 (内訳) 訪問看護委託料 1,229,250 円	決算	決算総額 76,150 円 (内訳) 訪問看護委託料 76,150 円  ※決算総額のうち25,000円は国補助額「教育支援体制整備事業費補助金（切れ目ない支援体制整備充実事業）」
課題	訪問看護事業所に業務委託を行うことにより看護師の確保は図られたが、時間的な制約があり、学校の要望に対応しきれない場合がある。	今後の方針	児童生徒が安心して通える環境の整備を万全にするため、主治医・保護者・学校関係者との連携を密にしながら実施していく。

事業名	特別支援教育就学奨励事業		
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。		
計画	○対象者：92人 ○支給額：4,486,574円	実績・成果	○対象者：104人 ○支給額：4,237,275円
予算	予算総額 4,486,574 円 (内訳) 学用品費 656,120 円 新入学学用品費 626,100 円 修学旅行費 297,090 円 校外活動費 186,820 円 通学費 0 円 給食費 2,720,444 円	決算	決算総額 4,237,275 円 (内訳) 学用品費 664,845 円 新入学学用品費 752,600 円 修学旅行費 310,260 円 校外活動費 87,800 円 通学費 10,355 円 給食費 2,411,415 円
課題	生活保護基準の見直しにより、対象者数が大きく変わる場合がある。	今後の方針	今後も対象者に対し適正に支給を行う。

#### (6) コミュニティ・スクール制度の推進

事業名	学校運営協議会の設置		
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために配置している学校評議員から、法律改正に伴い設置する学校運営協議会への移行を実施するものである。		
計画	○学校運営協議会実施校 大平地区（大平小・大平中） 関根地区（関根小・関根中） ○実施回数 大平地区 3回予定 関根地区 3回予定	実績・成果	○学校運営協議会実施校 大平地区（大平小・大平中） 関根地区（関根小・関根中） ○実施回数 大平地区 2回 関根地区 2回
予算	予算総額 455,000 円 (内訳) 報酬 90,000 円 費用弁償 245,000 円 需用費 120,000 円	決算	決算総額 201,384 円 (内訳) 報酬 41,000 円 費用弁償 111,706 円 需用費 48,678 円
課題	法律の改正により平成29年度より「学校運営協議会」の設置が教育委員会の努力義務となったことから、平成30年度から学校運営協議会制度の導入を進めているが、令和2年度には市内全小中学校で導入する方針であるため、広く周知していく必要がある。	今後の方針	令和2年度からの導入に伴い各学校に対する制度の周知及び活用について進め、併せて先進地区の優良事例等があれば共有し、対応することとする。

(7) 奨学金制度の充実

事業名		奨学金貸付事業																																					
概要	当市に住所を有する者の子弟で高等学校又はそれと同等以上の学校に修学している者に対して、修学に必要な学費の一部を貸与し、人材の育成を図る。																																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸与                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生：18人 3,240,000円 (継続8人、新規10人)</li> <li>・大学生等：118人 42,480,000円 (継続78人、新規40人)</li> </ul> </li> <li>○返還                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現年度分：37,625,000円</li> <li>・滞納分：2,835,000円</li> </ul> </li> <li>○ソフトウェア購入                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金システム用(Access2016) @21,750×1.08 = 23,490円</li> <li>・奨学金システム用(FileMaker pro17) @57,600×3ライセンス×1.08 =186,624円</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸与                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生：14人 2,520,000円 (継続8人、新規6人)</li> <li>・大学生等：93人 33,180,000円 (継続75人、新規18人)</li> </ul> </li> <li>○返還                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現年度分：14,565,000円 (※繰り上げ返還分を含む)</li> <li>・滞納分：4,160,500円</li> </ul> </li> <li>○ソフトウェア購入                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・Accessライセンス2019使用料 18,468円</li> <li>・奨学金システム用ソフトウェア購入 63,580円</li> </ul> </li> </ul>																																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">86,783,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委員報酬</td> <td style="text-align: right;">65,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">109,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">32,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">184,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">211,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td style="text-align: right;">45,720,000 円</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td style="text-align: right;">40,462,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	86,783,000 円	(内訳) 委員報酬	65,000 円	費用弁償	109,000 円	役務費	32,000 円	委託料	184,000 円	備品購入費	211,000 円	使用料及び賃借料	0 円	貸付金	45,720,000 円	積立金	40,462,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">82,485,074 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委員報酬</td> <td style="text-align: right;">32,500 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">42,041 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">63,580 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">18,468 円</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td style="text-align: right;">35,700,000 円</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td style="text-align: right;">46,628,485 円</td> </tr> </table>	決算総額	82,485,074 円	(内訳) 委員報酬	32,500 円	費用弁償	42,041 円	役務費	0 円	委託料	0 円	備品購入費	63,580 円	使用料及び賃借料	18,468 円	貸付金	35,700,000 円	積立金	46,628,485 円
予算総額	86,783,000 円																																						
(内訳) 委員報酬	65,000 円																																						
費用弁償	109,000 円																																						
役務費	32,000 円																																						
委託料	184,000 円																																						
備品購入費	211,000 円																																						
使用料及び賃借料	0 円																																						
貸付金	45,720,000 円																																						
積立金	40,462,000 円																																						
決算総額	82,485,074 円																																						
(内訳) 委員報酬	32,500 円																																						
費用弁償	42,041 円																																						
役務費	0 円																																						
委託料	0 円																																						
備品購入費	63,580 円																																						
使用料及び賃借料	18,468 円																																						
貸付金	35,700,000 円																																						
積立金	46,628,485 円																																						
課題	<p>(以下2点とも昨年度課題から継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他の制度と併用している方が多いため、国や県、他自治体の動向を注視し、給付型奨学金の創設を含め奨学金制度の見直しについて調査研究していく必要がある。</li> <li>○経済的理由により進学を断念することがないように、市内の中学校及び高等学校の生徒や保護者、学校関係者に対して十分に制度を周知していく必要がある。</li> </ul>	今後の方針	<p>給付型奨学金の実施には新たな財源が必要となるため現状では難しい。本奨学金はあくまで貸与型ではあるが、無利子で返還しやすいため他の制度と合わせて検討し利用してもらえよう、引き続き周知・運用していく。</p> <p>加えて、国や県、他自治体等の多様な取組を参考に、進学を望む生徒たちのよりよい将来を考え、制度設計や運用について柔軟に検討していく。</p>																																				

事業名		次代を担うプラチナ人材育成プロジェクト（未来人材育成奨学金プロジェクト）									
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学に必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消、明確な目的を持った学習による市内の高等学校の学力の向上を図る。										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○募集人数：3人 年額500,000円、6年間支給</li> <li>○助成金額：1,500,000円 (1人当たり500,000円)</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応募人数：4人 (継続1人、新規3人)</li> <li>○助成金額：2,000,000円 (1人当たり500,000円)</li> </ul>								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 助成金</td> <td style="text-align: right;">1,500,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,500,000 円	(内訳) 助成金	1,500,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 助成金</td> <td style="text-align: right;">2,000,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	2,000,000 円	(内訳) 助成金	2,000,000 円
予算総額	1,500,000 円										
(内訳) 助成金	1,500,000 円										
決算総額	2,000,000 円										
(内訳) 助成金	2,000,000 円										

課題	<p>当市の医師不足の解消につなげることが本事業の趣旨の一つであるが、それが「しぼり」のように感じられ、学生の負担となるという市民からの指摘もあった。</p> <p>また、毎年度目標値を掲げてはいるが、新規の申請者数の増減が予測しづらい面もある。</p>	今後の方針	<p>市長からの助成金贈呈式の際に当市の医療の現状について説明し、問題意識を持ってもらう取組をしている。</p> <p>まだ実際に医師になった対象者がいないため、事業の効果の評価が難しい面もある。今後の議論も注視しつつ、継続して実施していきたい。</p>
----	---	-------	---

(8) 学校保健の充実

事業名	健康診断委託事業																														
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期に実施する。																														
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象児童生徒数：3,980人</li> <li>○対象教職員数：459人</li> </ul>	・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受診児童生徒数：3,932人</li> <li>○受診教職員数：324人</li> <li>※未受信者は、個別に人間ドック等を受診</li> </ul>																												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">8,355,667 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">尿検査</td> <td style="text-align: right;">716,400 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">心電図検査</td> <td style="text-align: right;">1,950,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貧血検査</td> <td style="text-align: right;">497,200 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教職員健診</td> <td style="text-align: right;">4,986,226 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教職員ストレスチェック</td> <td style="text-align: right;">205,841 円</td> </tr> </table>	予算総額	8,355,667 円	(内訳) 委託料		尿検査	716,400 円	心電図検査	1,950,000 円	貧血検査	497,200 円	教職員健診	4,986,226 円	教職員ストレスチェック	205,841 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">7,814,463 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">尿検査</td> <td style="text-align: right;">707,760 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">心電図検査</td> <td style="text-align: right;">1,879,500 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貧血検査</td> <td style="text-align: right;">468,504 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教職員健診</td> <td style="text-align: right;">4,553,353 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教職員ストレスチェック</td> <td style="text-align: right;">205,346 円</td> </tr> </table>	決算総額	7,814,463 円	(内訳) 委託料		尿検査	707,760 円	心電図検査	1,879,500 円	貧血検査	468,504 円	教職員健診	4,553,353 円	教職員ストレスチェック	205,346 円
予算総額	8,355,667 円																														
(内訳) 委託料																															
尿検査	716,400 円																														
心電図検査	1,950,000 円																														
貧血検査	497,200 円																														
教職員健診	4,986,226 円																														
教職員ストレスチェック	205,841 円																														
決算総額	7,814,463 円																														
(内訳) 委託料																															
尿検査	707,760 円																														
心電図検査	1,879,500 円																														
貧血検査	468,504 円																														
教職員健診	4,553,353 円																														
教職員ストレスチェック	205,346 円																														
課題	教職員健康診断について、平日の早朝に実施後、通常勤務のため、体力的に厳しいという声が上がっている。そのため、夏休み等の実施を検討する必要がある。	今後の方針	教職員健康診断について、実施時期を青森県総合健診センターと相談の上、見直していく。																												

事業名	学校医委託事業		
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るよう各種健康診断や健康相談業務を行うため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒400人以下 @226,000円×13人</li> <li>・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×13人</li> </ul> </li> <li>○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数500人以下 @224,000円×17人</li> <li>・児童生徒数501人以上 @291,200円×2人</li> </ul> </li> <li>○学校薬剤師 @157,000円×22人</li> <li>○産業医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒400人以下 @226,000円×16人</li> <li>・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×10人</li> </ul> </li> <li>○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数500人以下 @224,000円×16人</li> <li>※年度途中退任1名：@205,333円</li> <li>・児童生徒数501人以上 @291,200円×2人</li> </ul> </li> <li>○学校薬剤師 @157,000円×22人</li> <li>○産業医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> </ul> </li> </ul>

	○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) ・眼科医 (大畑) @200,000円× 1人 ・眼科医 (川内・脇野沢) @100,000円× 2人 ・耳鼻科医 (大畑) @200,000円× 1人 ・耳鼻科医 (川内・脇野沢) @100,000円× 2人		○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) ・眼科医 (大畑) @200,000円× 1人 ・眼科医 (川内・脇野沢) @100,000円× 2人 ・耳鼻科医 (大畑) @200,000円× 1人 ・耳鼻科医 (川内・脇野沢) @100,000円× 2人
予 算	予算総額 15,761,800 円 (内訳) 委託料 学校医 6,757,400 円 学校歯科医 4,390,400 円 学校薬剤師 3,454,000 円 産業医 360,000 円 眼科耳鼻科医 800,000 円	決 算	決算総額 15,539,733 円 (内訳) 委託料 学校医 6,554,000 円 学校歯科医 4,371,733 円 学校薬剤師 3,454,000 円 産業医 360,000 円 眼科耳鼻科医 800,000 円
課題	学校医の委嘱が遅れないよう、医師会との連携をしっかりと行う必要がある。	今後の方針	健康診断の日程調整前に医師会に確認を行う。

事業名	学校災害共済給付事業		
概要	保護者の同意を得て文部科学省が所管する日本スポーツ振興センターとの間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金 (1人当たり) ・一般： 945円 ・準要保護： 715円 ・要保護： 55円	実績・成果	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金 (加入者数：3,932人) ・一般： 935円 (市負担：475円) ・準要保護： 705円 (全額市負担) ・要保護： 45円 (全額市負担) ○日本スポーツ振興センター災害共済 ・災害発生件数： 350件 ・医療費給付額： 4,632,251円
予 算	予算総額 3,714,125 円 (内訳) 負担金 一般 3,250,800 円 準要保護 436,730 円 要保護 2,970 円 転入者分 23,625 円	決 算	決算総額 3,603,075 円 (内訳) 負担金 一般 3,528,690 円 準要保護 71,910 円 要保護 2,475 円 転入者分 0 円
課題	給付の請求漏れがないよう、保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

事業名	学校保健会補助事業		
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童、生徒の育成に寄与することを目的としたむつ市学校保健会及びむつ下北学校保健会に協賛する。		
計画	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 139,600円	実績・成果	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 139,600円
予算	予算総額 159,600 円 (内訳) 負担金 159,600 円	決算	決算総額 159,600 円 (内訳) 負担金 159,600 円
課題	負担金の大半が、むつ下北学校保健会への支出であるため、圧縮が難しい。	今後の方針	むつ下北学校保健会の決算状況を精査していく。

事業名	学校災害入院補償事業		
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下 : 10,000円×10件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×5件	実績・成果	○補償金の支給件数 ・15日以下 : 10,000円×3件
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 30,000 円 (内訳) 補償補填 30,000 円
課題	給付の請求漏れがないよう保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

【参考】肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

1. 平成30年度

性別	市町村	単位	小学校							中学校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
			男子	むつ市	受検者数	210	253	198	247	208	226	1,342	237
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	7	17	18	25	18	14	99	24	9	9	42
		中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	6	17	12	20	20	17	92	17	19	18	54
		高度肥満 (肥満度50%以上)	4	10	3	7	5	4	33	7	8	13	28
		肥満計	17	44	33	52	43	35	224	48	36	40	124
		肥満傾向児出現率	8.10	17.39	16.67	21.05	20.67	15.49	16.69	20.25	16.00	14.93	16.99
		青森県肥満傾向児出現率	6.72	9.47	14.16	13.74	13.14	13.52		14.88	13.06	10.86	
		全国肥満傾向児出現率	4.51	6.23	7.76	9.53	10.11	10.01		10.60	8.73	8.36	
女子	むつ市	受検者数	192	220	201	214	213	238	1,278	222	228	253	703
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	11	17	10	17	9	15	79	20	14	22	56
		中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	5	10	10	15	12	17	69	14	10	13	37
		高度肥満 (肥満度50%以上)	1	3	3	2	1	4	14	6	4	3	13
		肥満計	17	30	23	34	22	36	162	40	28	38	106
		肥満傾向児出現率	8.85	13.64	11.44	15.89	10.33	15.13	12.68	18.02	12.28	15.02	15.08
		青森県肥満傾向児出現率	8.32	8.67	9.28	11.27	9.64	12.41		11.07	10.64	12.15	
		全国肥満傾向児出現率	4.47	5.53	6.41	7.69	7.82	8.79		8.45	7.37	7.22	

※出典：平成30年度学校保健調査、むつ市学校保健会報第41号

2. 令和元年度

性別	市町村	単位	小学校							中学校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
			男子	むつ市	受検者数	217	211	253	196	246	210	1,333	218
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	10	14	15	17	26	19	101	21	19	12	52
		中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	9	10	25	16	12	16	88	15	13	17	45
		高度肥満 (肥満度50%以上)	3	5	4	2	10	3	27	4	8	7	19
		肥満計	22	29	44	35	48	38	216	40	40	36	116
		肥満傾向児出現率	10.14	13.74	17.39	17.86	19.51	18.10	16.20	18.35	17.47	16.14	17.31
		青森県肥満傾向児出現率	9.59	10.41	15.36	16.17	13.12	13.11		14.08	12.96	14.48	
		全国肥満傾向児出現率	4.68	6.41	8.16	10.57	10.63	11.11		11.18	9.63	8.96	
女子	むつ市	受検者数	213	185	220	197	209	215	1,239	233	218	228	679
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	12	11	16	12	21	7	79	12	14	12	38
		中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	7	8	12	9	11	8	55	15	10	10	35
		高度肥満 (肥満度50%以上)	3	1	4	2	1	2	13	6	8	2	16
		肥満計	22	20	32	23	33	17	147	33	32	24	89
		肥満傾向児出現率	10.33	10.81	14.55	11.68	15.79	7.91	11.86	14.16	14.68	10.53	13.11
		青森県肥満傾向児出現率	9.51	8.76	13.49	11.29	12.21	10.02		13.26	9.73	11.44	
		全国肥満傾向児出現率	4.33	5.61	6.88	7.85	8.46	8.84		8.48	7.88	7.37	

※出典：令和元年度学校保健調査、むつ市学校保健会報第42号

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

(9) 学校給食の充実

事業名		学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場10施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。		
計画	市直営の共同調理場2施設、各学校ごとの単独調理場9施設の維持管理及び指定管理を行っている共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供する。	実績・成果	市直営の共同調理場2施設、各学校ごとの単独調理場9施設の維持管理及び指定管理を行っている共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供した。
予算	予算総額 140,429,000 円 (内訳) 賃金 48,220,000 円 旅費 0 円 需用費 20,592,000 円 役務費 3,100,000 円 委託料 68,447,000 円 負担金 44,000 円 補償補填費 0 円 公課費 26,000 円	決算	決算総額 136,199,724 円 (内訳) 賃金 46,361,238 円 旅費 52,680 円 需用費 18,927,239 円 役務費 2,470,804 円 委託料 68,306,000 円 負担金 39,500 円 補償補填費 17,063 円 公課費 25,200 円 ※決算総額のうち35,400,000円は国・電源補助額
課題	食中毒防止のため、調理場及び学校内での衛生管理に努めているが、老朽化した調理施設が多く、衛生環境の維持が困難になってきている状況である。近年、食物アレルギーを有する児童生徒が多くなってきているが、独立した調理スペースを確保できず、対応が十分とはいえない状況である。	今後の方針	現在の調理施設の機能維持に必要な修繕等を実施しつつ、衛生管理基準に適合し、アレルギー対応が十分に可能な新しい給食センターの建設に向け、準備を進めていく。

事業名		学校給食設備整備事業	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器・用具の修繕又は購入をとおして調理環境の整備を図る。		
計画	○現有機器の修繕及び点検・調整等 ○老朽機器の更新	実績・成果	○現有機器の修繕及び点検・調整等 ・修繕 16件 1,185,600円 ・点検・調整等 3件 105,608円 ○老朽機器の更新 21件 3,213,842円
予算	予算総額 3,931,000 円 (内訳) 需用費 1,342,000 円 役務費 88,000 円 備品購入費 2,501,000 円	決算	決算総額 4,505,050 円 (内訳) 需用費 1,185,600 円 役務費 105,608 円 備品購入費 3,213,842 円
課題	耐用年数が過ぎた機器が多いため故障が多く、修繕費が高む傾向にある。	今後の方針	老朽化した調理機器等の計画的な更新を実施しつつ、衛生管理基準に適合できる新しい給食センター建設準備を進めていく。

## 2 生涯学習課

### 【重点項目】

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進
- (3) 社会教育施設の機能充実
- (4) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

### ■ 重点項目の点検（令和元年度の具体的な取組状況） ■

#### (1) 生涯学習の推進

事業名		社会教育委員の配置																					
概要	社会教育法第15条1項の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を配置する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員定数 13人以内</li> <li>○任命期間 2年間</li> <li>○会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員会議</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会</li> </ul> </li> <li>○団体構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会及び下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動する。</li> </ul> </li> <li>○研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため各種研修会へ参加する。</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員定数 13人</li> <li>○任命期間 令和元年10月1日～令和3年9月30日（2年間）</li> <li>○会議開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員会議 2回</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会 2回</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会 3回</li> </ul> </li> <li>○研修参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県社会教育研究大会 9人参加</li> <li>・下北地区社会教育研究会むつ大会 15人参加</li> </ul> </li> </ul>																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">769,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">475,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">263,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	769,000 円	(内訳) 報酬	475,000 円	費用弁償	263,000 円	消耗品	20,000 円	負担金	11,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">453,498 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">286,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">145,998 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">10,500 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	453,498 円	(内訳) 報酬	286,000 円	費用弁償	145,998 円	消耗品	10,500 円	負担金	11,000 円
予算総額	769,000 円																						
(内訳) 報酬	475,000 円																						
費用弁償	263,000 円																						
消耗品	20,000 円																						
負担金	11,000 円																						
決算総額	453,498 円																						
(内訳) 報酬	286,000 円																						
費用弁償	145,998 円																						
消耗品	10,500 円																						
負担金	11,000 円																						
課題	委員の資質の向上が課題である。	今後の方針	研究大会等を通して委員のスキルアップに努める。																				

事業名		社会教育指導員による学習支援	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、特定分野（青少年・成人教育）についての直接指導及び学習相談、社会教育関係団体の育成等を行う目的で、社会教育指導員を配置する。		
計画	○社会教育指導員を1人配置する。	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育指導員の配置：1人</li> <li>・任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日</li> <li>・市内社会教育団体の情報収集</li> <li>・自然観察会の企画、実施</li> <li>・学習相談への対応</li> <li>・「むつ市の社会教育行政」の作成</li> </ul>

予 算	予算総額	1,974,000 円	決 算	決算総額	1,939,519 円
	(内訳) 報酬 費用弁償	1,556,000 円 418,000 円		(内訳) 報酬 費用弁償	1,555,200 円 384,319 円
課題	なし		今後の 方針	市民や社会教育関係団体等へ相談や支援を行っていることを周知するとともに、学習課題やニーズの把握等情報収集に努める。	

事業名		成人式の開催			
概要	二十歳を迎える若者を祝福し、将来を担う市民としての自覚を促す。				
計画	○対象者(見込) 590人 ※対象者 平成11年4月2日から平成12年4月1日 生まれの市内在住及び市外在住の参加希望者	実績・ 成果	○式典開催日 令和2年1月12日(日) ○対象の成人 591人 ○当日参加者 428人 ○当日参加率 72.4% ○実施内容 ・メモリアルムービー上映 ・ジオパークサポーターの会による振舞料理		
予 算	予算総額	524,000 円	決 算	決算総額	379,310 円
	(内訳) 報酬 費用弁償 消耗品 印刷製本費 食料費 役務費 使用料	187,000 円 71,000 円 53,000 円 158,000 円 3,000 円 48,000 円 4,000 円		(内訳) 報酬 費用弁償 消耗品 印刷製本費 食料費 役務費 使用料	141,800 円 0 円 46,431 円 143,079 円 1,800 円 46,200 円 0 円
課題	例年式典内容を変えながら進行しているが、インフルエンザの流行等により出演を見合わせる団体もある等、出演者の選出に苦慮している。	今後の 方針	式典の進行がスムーズに執り行われるよう工夫する。		

事業名		自然観察会の開催			
概要	季節毎の自然の営みを観察することで、市民がふるさとの豊かな自然や新たな魅力を知る機会を提供する。				
計画	季節に応じた自然観察会を年4回開催する。	実績・ 成果	○春：水源池公園自然観察(悪天候で中止) 平成31年4月27日(申込者14人) ○夏：夏の夜の星座観察 令和元年8月23日 参加者22人 ○秋：むつ市下北自然の家自然観察 令和元年9月29日 参加者28人 ○冬：川内川越冬する野鳥観察 令和2年1月19日 参加者35人		
予 算	予算総額	41,000 円	決 算	決算総額	10,396 円
	(内訳) 報酬 費用弁償	38,000 円 3,000 円		(内訳) 報酬 費用弁償	7,500 円 2,896 円
課題	なし	今後の 方針	季節毎に観察内容を変え、豊かな自然の魅力を伝えていく。		



令和2年 むつ市成人式



秋の自然観察会

(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進

事業名		放課後子ども教室推進事業	
概要	<p>文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（こどもみらい部所管「なかよし会」）」で構成される「放課後子ども総合プラン」に基づき実施。 放課後子ども教室では、全ての子どもたちを対象に、安全で健やかな居場所作りの推進を目的に、地域の大人が放課後等に子どもたちを見守る体制をつくる。</p>		
計画	<p>○年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ地域放課後子どもプラン運営委員会」を開催する。 ○各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。 ※費用負担：（国1/3、県1/3、市1/3）</p>	実績・成果	<p>○運営委員会：委員11人 会議開催2回 ○子ども教室数：3教室 ○コーディネーターの配置：3人 ○教育活動サポーターの登録：15人 任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日 ○内容：スポーツ、畑づくり、読み聞かせ、工作等 ○子ども教室開催回数：147回 ○参加者数：延べ1,281人</p>
	<p>予算総額 1,591,000 円 (内訳) 報償費 1,225,000 円 費用弁償 196,000 円 需用費 133,000 円 役務費 37,000 円</p>		<p>決算総額 1,188,538 円 (内訳) 報償費 980,360 円 費用弁償 123,943 円 需用費 61,035 円 役務費 23,200 円</p>
課題	<p>コーディネーター及び教育活動サポーターの確保が難しい。</p>	今後の方針	<p>地域の子どもたちが安心安全に放課後の時間を過ごすことができるよう、行政・学校・地域が一体となり取り組んでいく。</p>



放課後子ども教室交流会

(3) 社会教育施設の機能充実

事業名		むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	
概要	<p>恵まれた自然環境の中で、市民の生涯学習や子ども達の体験学習の場として活用しながら、地域の情報発信に寄与することを目的に施設を運営する。          指定管理制度を導入し、質の高い事業内容と利用者の増加を図り、安定した施設運営を目指す。</p>		
計画	<p>○貝殻の常設、企画展示及び貝殻を使ったワークショップ          ○海の生物展示及びワークショップ</p> <p>○ふるさと自然学校～海Ver.          ○ふるさと自然学校～山Ver.</p> <p>○海の指導者養成講座</p> <p>○ジオパーク教育活動          ○イルカ教育活動</p>	実績・成果	<p>【指定管理者】          NPO法人シェルフオレスト川内          【指定管理期間】          平成30年4月1日～令和3年3月31日          【年度中の施設利用者（人数）】          7,330人          【事業実施状況】</p> <p>○常設展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山口和雄コレクション世界の貝」（世界の貝殻約100種）</li> <li>・海の生きもの生態展示              「下北の自然 むつ湾の生きもの」「下北の自然 海の生きもの」の進化を知ろう              「陸奥湾のイルカとジオパーク」</li> <li>・川の生きもの生態展示</li> </ul> <p>○企画展          「世界のカタツムリ展」</p> <p>○海の自然学校          カヌー体験、スキューバダイビングによる生きもの生態観察など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月11日～12日 6人</li> <li>・8月18日 3人</li> </ul> <p>○海の自然観察指導員育成講座          カヌー、シュノーケリング、スキューバダイビング実技、救急蘇生法講習等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月 1日 3人</li> <li>・9月15日 7人</li> <li>・9月16日 5人</li> </ul> <p>○イルカ及びジオパーク教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラム開発とその実証</li> <li>・生態調査</li> <li>・海浜放牧による実証研究については、三重大学及び北大と共同実施</li> <li>・学会発表 12月2日</li> <li>・小学生（総合学習）への学習指導</li> <li>・出版物（ガイドブック）              「陸奥湾のカマイルカ」</li> </ul>
予算	<p>予算総額 15,673,000 円          (内訳) 委託料 15,673,000 円</p>	決算	<p>決算総額 15,673,000 円          (内訳) 委託料 15,673,000 円</p>
課題	天候に左右されない屋内施設を活用した事業の展開が必要である。		<p>今後の          自然のフィールドを活用した体験活動の場を提供する。</p>

事業名	むつ市下北自然の家の管理・運営																																												
概要	<p>豊かな自然環境の中で、集団宿泊生活、野外活動、自然体験活動等をとおして、青少年の心身と調和のとれた健全な育成を図ると共に、市民の生涯学習活動の振興に資することを目的とする施設運営をする。</p> <p>指定管理制度を導入し、質の高い事業内容と利用者の増加を図り、安定した施設運営を目指す。</p>																																												
計画	<p>○主催事業の実施</p> <p>○自主事業の実施</p> <p>○受入事業の実施</p>	実績・成果	<p><b>【指定管理者】</b> 一般財団法人むつ市教育振興会</p> <p><b>【指定管理期間】</b> 平成29年4月1日～令和2年3月31日</p> <p><b>【施設の利用状況（総数）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体数 371団体</li> <li>・利用者実人数 6,299人</li> <li>・利用者延人数 8,804人</li> <li>・宿泊者人数 1,910人</li> </ul> <p><b>【事業の実施状況】</b></p> <p>○主催事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25事業</li> <li>・利用者延べ人数 574人</li> <li>・主な事業名 黒森山登山、ツリーイング体験</li> </ul> <p>○自主事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6事業</li> <li>・利用者延べ人数 303人</li> <li>・主な事業名 そば打ち体験、べこもち作り</li> </ul> <p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入事業 144事業</li> <li>・利用者延べ人数 6,761人</li> <li>・主な事業名 赤十字高校部会 ジオ・スタンプラリー</li> </ul>																																										
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>84,440,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 修繕費</td> <td>319,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>140,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>83,573,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>408,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	84,440,000	円	(内訳) 修繕費	319,000	円	手数料	140,000	円	委託料	83,573,000	円	備品購入費	408,000	円			円			円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>84,081,169</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 修繕費</td> <td>318,049</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>139,560</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>83,117,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>506,560</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	84,081,169	円	(内訳) 修繕費	318,049	円	手数料	139,560	円	委託料	83,117,000	円	備品購入費	506,560	円			円			円
予算総額	84,440,000	円																																											
(内訳) 修繕費	319,000	円																																											
手数料	140,000	円																																											
委託料	83,573,000	円																																											
備品購入費	408,000	円																																											
		円																																											
		円																																											
決算総額	84,081,169	円																																											
(内訳) 修繕費	318,049	円																																											
手数料	139,560	円																																											
委託料	83,117,000	円																																											
備品購入費	506,560	円																																											
		円																																											
		円																																											
課題	施設の特長である集団宿泊生活の利用者を増やすための工夫が必要である。		<p>今後の 方針</p> <p>集団宿泊生活、野外活動、自然体験活動等を通して生涯学習活動に寄与する。</p>																																										

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示		
概要	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者の作品を展示し、その功績を広く市民に紹介するとともに、市民に芸術や文化の魅力、楽しさに触れる機会を提供する。		
計画	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者の作品紹介展を開催する。	実績・成果	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示会 ・期間：令和元年11月4日～11月11日 ・会場：北の防人大湊 式番館
予算	予算総額 193,000 円 (内訳) 報償費 106,000 円 消耗品費 87,000 円	決算	決算総額 35,725 円 (内訳) 報償費 27,500 円 消耗品費 8,225 円
課題	対象者の範囲が限られることから、候補の選定が難しくなっている。	今後の方針	文化芸術の振興を図るため、今後も表彰対象者の掘り起こしを図る。

事業名	東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室		
概要	子どもたちと当市にゆかりのある東京藝術大学教授 佐野 靖氏率いる演奏家との音楽交流をとおして、健やかな成長と音楽・芸術・文化への関心を高める。		
計画	東京藝術大学出身の演奏家が市内学校を訪問し、児童生徒に世界レベルの演奏を鑑賞させる。	実績・成果	○佐野教授、演奏家4名（ピアノ、ヴァイオリン、フルート、声楽） ○令和元年7月9日 ・脇野沢小学校・中学校 ・川内小学校・中学校 ○令和元年7月10日 ・大平小学校
予算	予算総額 580,000 円 (内訳) 報償費 210,000 円 旅費 347,000 円 需用費 13,000 円 借上料 10,000 円	決算	決算総額 515,990 円 (内訳) 報償費 182,000 円 旅費 325,460 円 需用費 8,530 円 借上料 0 円
課題	訪問できる学校数に限りがあるため、希望する学校すべてに必ずしも訪問できない。	今後の方針	一流音楽家の演奏を間近で聞くことができ、児童生徒にとっては貴重な経験となっている。今後も音楽に親しみ、関心を高めるため事業を維持していく。



東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室の様子

事業名	むつ市文化団体等支援事業		
概要	市内の芸術文化団体（32団体）で組織され、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に市民文化祭を開催している「むつ市文化団体協議会」に補助金を交付するとともに、「第九の会」など団体独自の発表会や演奏会等の活動を展開している文化芸術団体活動の支援を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「市民文化祭」などの事業に対して会場費助成や活動費の補助を行う。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市文化団体協議会の事業への補助 74,000円</li> <li>○下北文化会館会場使用料負担 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第50回むつ市民文化祭 令和元年11月2日～4日、9、10日 (助成額：2,257,140円)</li> <li>・「第九」演奏会 令和元年12月14日 リハーサル 令和元年12月15日 演奏会当日 (助成額：311,460円)</li> </ul> </li> <li>※下北文化会館会場使用料は、市財務部財務課で予算措置</li> <li>○共催・後援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催承認 4件</li> <li>・後援承認 11件</li> <li>・協賛承認 1件</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 74,000 円 (内訳) 補助金 74,000 円	決算	決算総額 74,000 円 (内訳) 補助金 74,000 円
課題	市民文化祭の入場者数は年々減少している。今後の開催について検討する必要がある。	今後の方針	今後も創意工夫しながら芸術文化の振興を図る。

### (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名	文化財保護審議会の設置		
概要	文化財保護法第190条第1項、及びむつ市文化財保護条例第4条の規定に基づき、むつ市文化財保護審議会を設置し、当市における文化財の保存及び活用に資する。また、下北地方文化財審議委員連絡協議会も運営し、下北管内全域の文化財保護に資する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員について <ul style="list-style-type: none"> <li>・定数:15人以内(年度当初14人)</li> <li>・任期:2年(平成29年12月1日～令和元年11月30日)</li> <li>・本年度は新たに委嘱する必要あり</li> </ul> </li> <li>○会議の開催:年2回</li> <li>○下北地方文化財審議委員連絡協議会(下文審)の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつの審議委員は会員</li> <li>・生涯学習課が下文審事務局</li> <li>・年1回の総会、年2回の研修会を開催</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員について 年度中に任期更新、全14人再任</li> <li>○むつ市文化財保護審議会会議:2回開催</li> <li>○下文審総会、前期研修会(むつ市) 13人参加</li> <li>○下文審後期研修会(東通村) 11人参加(うち、1名発表)</li> </ul>
予算	予算総額 724,000 円 (内訳) 報酬 410,000 円 旅費 283,000 円 需用費 14,000 円 負担金 17,000 円	決算	決算総額 588,913 円 (内訳) 報酬 331,500 円 旅費 229,413 円 需用費 11,000 円 負担金 17,000 円
課題	審議委員の資質の向上が課題である。また、後継者不足や構成に専門分野の偏りがある。	今後の方針	研修会等の開催と、その積極的参加を促すことでスキルアップを図る。

事業名	民俗芸能の保存と伝承活動の支援		
概要	民俗芸能の伝承団体等に対し、保存、伝承活動に関する助成金等の情報を提供し活動を支援する。		
計画	○各団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。	実績・成果	○財団等助成金情報の提供 6件
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
課題	なし	今後の方針	活動を続けている各団体に情報を提供する。

事業名	文化財収蔵庫の管理・運営		
概要	市内2ヶ所の文化財収蔵庫について、施設及び収蔵品の適正な管理（収蔵品の状態、所在確認と清掃等）に務める。 未整理の収蔵品に関しては調査、整理、データベース化等を行い、むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵しているため、施設管理人を配置する。		
計画	○施設管理人を1人配置する。 ・データ化作業（計測、写真撮影）、 収集、管理  ○整理人夫による所在確認、清掃作業の実施  ○収蔵品の公開と活用	実績・成果	○施設管理人：1人（臨時職員） ・資料寄贈受理 3件 ・資料貸出 3件 ・写真提供 10件 ○整理人夫作業（3人） ○その他見学受入：92人 ○川内公民館まつりにおける、川内地区収蔵品の展示と体験実施
予算	予算総額 4,551,000 円  (内訳) 賃金 1,663,000 円 消耗品費 200,000 円 電気料 1,580,000 円 上下水道料 163,000 円 役務費 303,000 円 委託料 642,000 円	決算	決算総額 4,369,031 円  (内訳) 賃金 1,643,051 円 消耗品費 175,635 円 電気料 1,459,461 円 上下水道料 161,870 円 役務費 288,094 円 委託料 640,920 円
課題	今後も増えていく資料等受入に伴う、収蔵場所の確保が課題である。	今後の方針	資料整理と収蔵品の適正な管理及び活用を図る。



自主事業「収蔵庫収蔵品展」

事業名		北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援																																																																	
概要	平成30年度から北の防人大湊エリアを北の防人施設経営室で一括管理することになったことから、当課では自主事業を開催し、北の防人大湊式番館の活用を図る。 また、歴史や自然に親しんでもらうため、説明案内するガイドを養成するとともに、ガイドの拠点施設として活動の支援に努める。																																																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主事業の企画、実施</li> <li>○ガイド養成講座の開講</li> <li>○ガイド活動団体の支援</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主事業の実施：2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画事業1 大湊で夏休み！ 大湊ネブタ展</li> <li>・企画事業2 収蔵品展</li> </ul> </li> <li>○ガイド養成講座の実施：受講2人 (2人登録)</li> <li>○ガイド活動団体の支援 (活動保険17人分、活動に必要な物品の購入等)</li> <li>○総合的な学習に伴うジュニアガイド養成講座とその活動として市民の皆さんをガイドするツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校：大湊小学校</li> <li>・ツアー参加者：50人</li> </ul> </li> </ul>																																																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">360,000</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">20,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">20,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">200,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">20,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> </table>	予算総額	360,000	円		(内訳) 報償費	20,000	円		旅費	20,000	円		消耗品費	100,000	円		印刷製本費	200,000	円		役務費	20,000	円				円				円		決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">314,233</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">27,500</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">6,960</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">81,301</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">91,260</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">1,912</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">26,650</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">78,650</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> </table>	決算総額	314,233	円		(内訳) 報償費	27,500	円		旅費	6,960	円		消耗品費	81,301	円		印刷製本費	91,260	円		食糧費	1,912	円		役務費	26,650	円		備品購入費	78,650	円	
予算総額	360,000	円																																																																	
(内訳) 報償費	20,000	円																																																																	
旅費	20,000	円																																																																	
消耗品費	100,000	円																																																																	
印刷製本費	200,000	円																																																																	
役務費	20,000	円																																																																	
		円																																																																	
		円																																																																	
決算総額	314,233	円																																																																	
(内訳) 報償費	27,500	円																																																																	
旅費	6,960	円																																																																	
消耗品費	81,301	円																																																																	
印刷製本費	91,260	円																																																																	
食糧費	1,912	円																																																																	
役務費	26,650	円																																																																	
備品購入費	78,650	円																																																																	
課題	ガイド養成講座への参加者が少なく、ガイドの増員につながらない。		今後の方針 ガイド養成講座についての広報を積極的に行うことでガイドの増員につなげ、来訪者への対応を充実させていく。																																																																

事業名		埋蔵文化財発掘調査事業																																																																	
概要	遺跡(市内183ヶ所)における開発行為に対し、現場の事前確認や試掘などの予備調査を実施する。また、遺跡外であっても、大規模開発の場合には同様に予備調査を実施する。																																																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業者等の遺跡照会に対する窓口対応</li> <li>○遺跡内で開発行為が行われる場合及び遺跡外でも大規模開発等が行われる場合の事前協議を実施</li> <li>○状況に応じて予備調査(現場確認、踏査、試掘確認調査等)を実施する。</li> <li>○遺跡範囲の確認</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業者等による照会件数：147件</li> <li>○遺跡隣接地の試掘調査：2件</li> <li>○遺跡隣接地の工事立会：1件</li> <li>○角違川代遺跡を踏査し、遺跡位置を特定</li> </ul>																																																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">1,655,000</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">13,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">673,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">7,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">21,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">125,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">29,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">787,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> </table>	予算総額	1,655,000	円		(内訳) 報酬	13,000	円		賃金	673,000	円		報償費	7,000	円		旅費	21,000	円		需用費	125,000	円		役務費	29,000	円		委託料	787,000	円		決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">1,078,172</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">188,356</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">111,330</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">28,264</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">750,222</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> </tr> </table>	決算総額	1,078,172	円		(内訳) 報酬	0	円		賃金	188,356	円		報償費	0	円		旅費	0	円		需用費	111,330	円		役務費	28,264	円		委託料	750,222	円	
予算総額	1,655,000	円																																																																	
(内訳) 報酬	13,000	円																																																																	
賃金	673,000	円																																																																	
報償費	7,000	円																																																																	
旅費	21,000	円																																																																	
需用費	125,000	円																																																																	
役務費	29,000	円																																																																	
委託料	787,000	円																																																																	
決算総額	1,078,172	円																																																																	
(内訳) 報酬	0	円																																																																	
賃金	188,356	円																																																																	
報償費	0	円																																																																	
旅費	0	円																																																																	
需用費	111,330	円																																																																	
役務費	28,264	円																																																																	
委託料	750,222	円																																																																	
課題	発掘調査を行い、整理作業を進め、報告書刊行までの一連の体制が整っていない。また、発掘作業員の確保が必要である。		今後の方針 一連の体制を完結させるには人員配置等が必要であることから、できることから進めていく。また、発掘作業員の確保のため、今後も養成講座を開催していく。																																																																

事業名	自然調査事業																						
概要	むつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少生物の生息を把握する。また、その調査について文化財調査報告にまとめ情報発信する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎調査：5回</li> <li>・釜臥山周辺調査</li> </ul> </li> <li>○文化財調査報告第49集の刊行</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎調査：4回 (悪天候により1回中止)</li> <li>・釜臥山周辺調査：4回</li> </ul> </li> <li>○文化財調査報告第49集 300部刊行</li> </ul>																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">906,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">333,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">40,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">522,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	906,000 円	(内訳) 報償費	333,000 円	消耗品費	40,000 円	印刷製本費	522,000 円	食糧費	11,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">767,764 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">267,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">31,653 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">462,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">7,111 円</td> </tr> </table>	決算総額	767,764 円	(内訳) 報償費	267,000 円	消耗品費	31,653 円	印刷製本費	462,000 円	食糧費	7,111 円
予算総額	906,000 円																						
(内訳) 報償費	333,000 円																						
消耗品費	40,000 円																						
印刷製本費	522,000 円																						
食糧費	11,000 円																						
決算総額	767,764 円																						
(内訳) 報償費	267,000 円																						
消耗品費	31,653 円																						
印刷製本費	462,000 円																						
食糧費	7,111 円																						
課題	調査に携わる地元調査員の育成が課題である。	今後の方針	地元小中学校の教員に調査への参加を打診する。また、報告書を市内の学校で活用できるように周知する。																				

事業名	文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業														
概要	地域の貴重な文化財を後世に伝承すべく、各種調査、保護管理に努め、普及啓発を図る。また天然記念物について、文化財保護法の規定に基づく各種手続きを行いつつ、地域の実情を考慮した対応を執る。														
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財パトロール(県事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>・県から委嘱された文化財保護指導員のパトロールに立ち会い、指導員や所有者等と密接に連携する。</li> </ul> </li> <li>○カモシカ関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・死体の場合は死体処理、及び滅失届を作成する。</li> <li>・生体の目撃情報に対しては現場の状況に応じて見守り、保護等の対応と、通報者への説明を行う。</li> </ul> </li> <li>○文化財防火デー(1/26) <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁、消防庁が主唱する文化財防火デーに合わせ、各消防署、各指定文化財所有者等と連携して防火活動を実施する。</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財パトロール <ul style="list-style-type: none"> <li>遺跡:91件 国・県指定文化財:5件</li> </ul> </li> <li>○カモシカ関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>目撃情報:20件 滅失届:9件</li> </ul> </li> <li>○文化財防火デー <ul style="list-style-type: none"> <li>・田名部地区(1/27) <ul style="list-style-type: none"> <li>火災防禦訓練：常念寺</li> <li>火災予防査察、指導：3件</li> </ul> </li> <li>・大湊地区(1/15, 27) <ul style="list-style-type: none"> <li>火災予防査察、指導：4件</li> </ul> </li> <li>・川内地区(1/24) <ul style="list-style-type: none"> <li>火災防禦訓練：川内八幡宮</li> <li>火災予防査察：4件</li> </ul> </li> <li>・脇野沢地区(1/21) <ul style="list-style-type: none"> <li>火災防禦訓練：九艘泊船小屋休憩所</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">65,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">15,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">50,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	65,000 円	(内訳) 報償費	15,000 円	需用費	50,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">52,170 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">12,434 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">39,736 円</td> </tr> </table>	決算総額	52,170 円	(内訳) 報償費	12,434 円	需用費	39,736 円
予算総額	65,000 円														
(内訳) 報償費	15,000 円														
需用費	50,000 円														
決算総額	52,170 円														
(内訳) 報償費	12,434 円														
需用費	39,736 円														
課題	生体のカモシカに対応する場合、対応者及び周辺での事故の危険性がある。	今後の方針	被害を出さない対応に心がける。												



文化財防火デー

事業名	重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品)		
概要	平成24年9月に国の重要文化財に指定された「二枚橋2遺跡出土品」1,308点のうち、320点について、今後の保存活用のために修復する。		
計画	<p>○専門業者に委託して修復業務を実施する。業務を進める際は、文化庁の指導監督を受け、本市担当者が立ち会う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土器7点、土面1点の修復</li> <li>・土面計19点の一括保存台2点作製</li> </ul> <p>○情報発信</p>	実績・成果	<p>○修復業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土器7点、土偶1点、土面1点の修復</li> <li>・土面計19点の一括保存台2点作製</li> <li>・土偶1点の保存台作製</li> <li>・指導監督、立会3回(開始前、中間、最終)</li> </ul> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者講演時に紹介、資料配付</li> <li>・HP上で紹介</li> </ul>
予算	<p>予算総額 3,948,000 円</p> <p>(内訳) 旅費 352,000 円</p> <p>          需用費 10,000 円</p> <p>          委託料 3,586,000 円</p>	決算	<p>決算総額 3,946,580 円</p> <p>(内訳) 旅費 115,780 円</p> <p>          需用費 90,800 円</p> <p>          委託料 3,740,000 円</p> <p>※決算総額のうち1,973,000円は国庫補助額</p>
課題	<p>国の重要文化財に指定され、展示する場合も厳しい条件があり、市内には展示できる場所がない。保存修理事業後の公開活用が課題である。</p>	今後の方針	<p>展示場等の整備について検討を進める。</p>

事業名		重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）																															
概要	重要文化財である旧大湊水源地水道施設の修理事業を実施する。																																
計画	<p>○保存修理事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大近川取水所設計及び監理業務委託</li> <li>・大近川取水所保存修理工事</li> <li>・沈澄池堰堤実施設計業務委託</li> </ul>	実績	<p>○保存修理工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大近川取水所設計及び監理業務委託</li> <li>・大近川取水所保存修理工事</li> <li>・沈澄池堰堤実施設計業務委託</li> </ul> <p>※繰越となった理由 重要文化財である旧大湊水源地水道施設保存修理事業として、平成30年度から2ヶ年の継続費を設定し、大近川取水所の保存修理を進めてきたが、工事施工に必要な養生用地の借り上げ交渉に時間を要したことにより、入札が遅れ冬季とも重なり、施工出来なかったため繰越となったもの。</p>																														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>65,426,350 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>78,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>567,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>17,162,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>23,000 円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>47,564,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>22,350 円</td> </tr> </table>	予算総額	65,426,350 円	(内訳) 報酬	78,000 円	旅費	567,000 円	消耗品費	10,000 円	委託料	17,162,000 円	使用料及び賃借料	23,000 円	工事請負費	47,564,000 円	備品購入費	22,350 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>8,553,873 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>39,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>320,783 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>9,774 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>8,162,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>22,316 円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>0 円</td> </tr> </table> <p>決算総額のうち、4,153,000円は国庫補助金 ※1 委託料8,974,800円、工事請負費47,564,000円は令和2年度に繰越</p>	決算総額	8,553,873 円	(内訳) 報酬	39,000 円	旅費	320,783 円	消耗品費	9,774 円	委託料	8,162,000 円	使用料及び賃借料	22,316 円	工事請負費	0 円
予算総額	65,426,350 円																																
(内訳) 報酬	78,000 円																																
旅費	567,000 円																																
消耗品費	10,000 円																																
委託料	17,162,000 円																																
使用料及び賃借料	23,000 円																																
工事請負費	47,564,000 円																																
備品購入費	22,350 円																																
決算総額	8,553,873 円																																
(内訳) 報酬	39,000 円																																
旅費	320,783 円																																
消耗品費	9,774 円																																
委託料	8,162,000 円																																
使用料及び賃借料	22,316 円																																
工事請負費	0 円																																
課題	通常の土木工事と異なるため、計画どおりの進捗管理が難しい状況である。	今後の方針	工事の進捗を管理するため、定例での打合せを開催し、状況の把握に努め工期内の完成を目指す。																														

### 3 学校教育課

#### 【重点項目】

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学との連携強化
- (10) キャリア教育の充実

#### ■ 重点項目の点検（令和元年度の具体的な取組状況） ■

##### (1) 小中一貫教育の充実

事業名	小中一貫教育推進事業		
概要	次代を担う人づくりに資するために、小・中学校間の連携を重視した教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	○市内の9つの中学校ブロックへ、小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。	実績・成果	○全9ブロックの研究実施計画書集及び研究実施報告書集の作成、配付 ○令和元年11月7日～11月8日 小中一貫教育全国サミット（大阪府堺市にて開催）への参加 ○ブロック全員協議会を開催し、小・中学校間の共通理解が図られている。 ○落ち着いた学校生活環境の中で充実した教育活動が実践されていることにより、生徒指導上の問題行動が減少し、さらに学力に関しても一定の成果が見られる。
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円	決算	決算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円
課題	○会議等の増加に伴う教員の多忙化 ○合同行事での移手段と時間の確保 ○保護者、地域社会へのさらなる情報提供	今後の方針	「むつ市教育プラン（平成29年度から令和3年度）」の取組を継続・改善しながら、小中一貫教育のさらなる充実を図る。

事業名	むつ市小中一貫教育推進委員会		
概要	小中一貫教育の各ブロックの進捗状況について情報を共有し、9つの各ブロック長と協議を重ね、より一層の推進を図る。		
計画	○9つの各ブロック長による評価委員会を2回開催し、ブロックごとの成果と課題を確認し合う。	実績・成果	○第1回推進委員会：令和元年7月11日 ・今年度の計画 ・意識調査の内容検討 ○第2回推進委員会：令和2年2月7日 ・今年度の実績報告 ・意識調査の結果報告 ○2回の推進委員会を通して、他のブロックの取組や実践可能な内容、意識調査の結果等について共有できている。
予算	予算総額 65,078 円 (内訳) 旅 費 65,078 円	決算	決算総額 62,256 円 (内訳) 旅 費 62,256 円
課題	意識調査の結果について、むつ市全体やブロックごとの集計結果を共有しているが、児童生徒数の規模により、成果と課題が異なる。	今後の方針	これまで年2回開催していた推進委員会の回数を増やし、新しい教育プラン策定に向けた取組を進める。

事業名	小中一貫教育非常勤講師配置		
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業（中学校教員による小学校での学習指導等）、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級（一人の教員による複数学年での指導）解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として教員免許保持者を採用し各中学校ブロックに配置する。		
計画	○乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として全9中学校ブロックに9人配置する。	実績・成果	○配置人数：全9中学校ブロックに1人ずつ配置 ○任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日 ○小学校における一部教科担任制や少人数指導、ティームティーチングなど、学校の実態に即した取組が進められている。
予算	予算総額 18,307,890 円 (内訳) 報酬 16,200,000 円 旅 費 2,107,890 円	決算	決算総額 17,869,017 円 (内訳) 報酬 15,900,876 円 旅 費 1,968,141 円
課題	学校やブロックの規模により活用状況に違いはあるものの、学校からの要望は高い。しかし、教員免許を所持する適任者の確保がより難しい状況となっている。	今後の方針	配置者に対する学校での効果的な活用の工夫をお願いするとともに、定年による退職教員への周知などを通して、人材の確保に努める。

## (2) 質の高い教育課程の創造

事業名	指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問（計画・要請）、初任者がむつ市の教育施設等について学ぶふるさとの教育研修を実施する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明会・研修会を各1回開催、説明冊子を全教職員へ配付</li> <li>○学校訪問時に方針と重点を説明した。その際に各学校の教育計画と市の指導の方針と重点の合致するところを具体的に示し、各校の取組を推進することが市全体の課題の解決につながることを伝えた。</li> <li>○全小・中学校への学校訪問と初任者を対象としたふるさとの教育研修を実施</li> </ul>
予算	予算総額 127,430 円 (内訳) 消耗品費 25,000 円 印刷製本費 100,430 円 材料費 2,000 円	決算	決算総額 126,252 円 (内訳) 消耗品費 25,010 円 印刷製本費 99,825 円 材料費 1,417 円
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冊子を配布し、学校訪問時に説明するものの、時間が限られ、ポイントしか伝える事ができない。</li> <li>○冊子については、事業等についての説明も記載されており、教職員にとって使い勝手が良くなるよう、内容の精選も含めた改善が必要である。</li> </ul>	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明の際に補助として、紙物資料を配付し、指導の方針と重点に関する理解をいっそう深めていただく。</li> <li>○冊子の内容・体裁の改善・見直しを行う。</li> </ul>

## (3) 学力向上対策の充実

事業名	学力調査・知能検査実施事業		
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市総合学力調査を小学校5年生から中学校3年生まで実施する。</li> <li>○知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に小学校5年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施</li> <li>○4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施</li> </ul>
予算	予算総額 4,426,000 円 (内訳) 消耗品費 393,000 円 委託料 4,033,000 円	決算	決算総額 4,114,400 円 (内訳) 消耗品費 381,100 円 委託料 3,733,300 円
課題	学力分析システムSYENの研修会は、平成30年度までに全小中一貫教育ブロックで開催したことから、令和元年度から実施しないこととしたが、調査結果の分析方法や活用の仕方については継続して情報提供する必要がある。	今後の方針	調査結果とともに、分析方法や活用の仕方についての資料を添付し、各校で分析結果を生かした授業改善が図られるようにする。

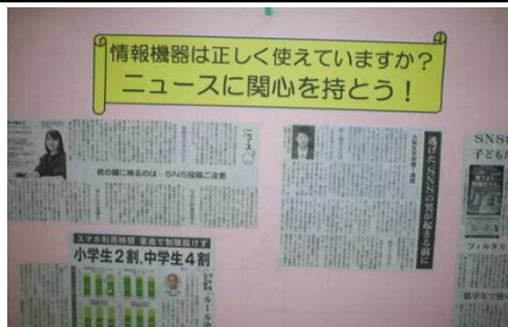
※学力分析システムSYEN：個人及び集団の学力の状況を様々な視点から分析し、個々に応じた学習方法などを提示してくれるシステム

事業名	活用力育成講座等の開催		
概要	むつ市学校教育の課題である活用力を育成するために、全国学力・学習状況調査等の実態に基づき、各教科における活用力の育成に向けた実践的な研修を行う。また、活用型問題集「ドリームワーク」について周知する。		
計画	<p>○活用力育成講座を開催する。（「むつ必修講座として各校1名以上の必修参加。）</p> <p>○活用型問題集「ドリームワーク」の積極的活用を周知する。</p>	実績・成果	<p>○活用力育成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年12月25日</li> <li>・参加者：23人</li> <li>・講師：十和田市教育委員会 指導課 課長補佐 木村 友昭 氏</li> <li>・講義・演習：「活用力向上を実現させるためのアクション」</li> </ul> <p>○活用型問題集「ドリームワーク」については、新聞を活用した問題を4月に追加し、研修会等で繰り返し周知を図った。</p>
予算	<p>予算総額 7,440 円</p> <p>(内訳) 旅 費 7,440 円</p>	決算	<p>決算総額 8,520 円</p> <p>(内訳) 旅 費 8,520 円</p>
課題	活用力育成に向けた方策が、よりむつ市児童生徒の実態に応じたものになるように講座や問題集の内容を改善していく必要がある。	今後の方針	活用力育成講座の方針や内容について、課内で十分協議する。活用型問題集については、新学習指導要領の全面実施に応じたものになるよう、新しい問題作りの準備に入る。

事業名	学力向上関係研究大会参加		
概要	授業研究に関する全国規模の県外研修等に参加し、最新情報を得ることで教員の資質・能力を伸ばすとともに、校内研修を活性化することで、新学習指導要領への対応も含め、本市学校教育の課題である学力向上の改善を図る。		
計画	各教科や学力向上に関する県外研修等の費用を、予算の範囲内において各校1名分助成する。（対象とする研修会は神奈川県以北とする。）	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国規模の研究大会に参加した教員は18名（小学校10名、中学校8名）であった。</li> <li>・教科指導に関する最新情報を校内研修等で伝達し、各学校の授業改善を一層促進した。</li> </ul>
予算	<p>予算総額 1,514,920 円</p> <p>(内訳) 旅 費 1,514,920 円</p>	決算	<p>決算総額 1,214,960 円</p> <p>(内訳) 旅 費 1,214,960 円</p>
課題	全国規模の大会が年度後半に多いため、研修成果を年度内の授業に生かすにくい。	今後の方針	研修で得た成果を次年度の校内研修にも積極的に生かすよう各校に周知する。

事業名	デジタル教科書購入		
概要	児童生徒の学習面での課題（特に小学校算数）である思考力・判断力・表現力等の育成には、視聴覚機器を使用した活用型の授業改善が効果的なことから、デジタル教科書を購入する。		
計画	○むつ市の児童生徒の学力の向上を図るため、小学校算数・社会・理科のデジタル教科書を購入する。 (教科書の使用年度の改訂に伴う)	実績・成果	○小学校デジタル教科書購入 ・算数(1年ライセンス) 39部 ・算数(半年ライセンス) 14部 ・社会(1年ライセンス) 9部 ・理科(1年ライセンス) 2部 ○実験や歴史上の出来事を動画で学ぶなど、授業改善に効果的である。
予算	予算総額 915,840 円 (内訳) 消耗品費 915,840 円	決算	決算総額 822,420 円 (内訳) 消耗品費 822,420 円
課題	1校あたりの購入数に限りがあるため、デジタル教科書を使用する教科の調査を行い、各学校の希望に沿うように配備したが、それ以上に導入を要望する声は多い。	今後の方針	新学習指導要領の改訂により、令和2年度から小学校で使用する教科書が新しくなるため、新たにデジタル教科書(算数・社会・理科)を市内の小学校13校に配備する。

事業名	新聞を活用した学習への支援事業		
概要	むつ市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内全ての小・中学校全学年（特別支援学級を含む）を対象に各学校の希望数により新聞を配備する。		
計画	○市内小・中学校の希望する学級（特別支援学級を含む）に新聞を配備する。	実績・成果	○新聞配備部数 小学校：87部 中学校：75部 ○出前授業実施校：8校 ○保管用物品、教材等購入 ・スクラップブック：100冊 ・書き写しノート：46冊 ○学校では、短学活でのニュース発表やコラムの書き写し、興味を持った記事をスクラップしたりして学習に活用した。
予算	予算総額 3,400,000 円 (内訳) 消耗品費 3,400,000 円	決算	決算総額 3,067,639 円 (内訳) 消耗品費 3,067,639 円
課題	情報収集の手段が多様化している中、小・中学校とも、新聞を毎日読む児童生徒の割合は昨年度より低くなった(アンケート結果から)。家庭で新聞に触れる機会はますます少なくなっている。	今後の方針	本事業を通して、掲示して繰り返し見たり紹介したりすることができるなどの新聞の長所を積極的に生かし、学校で新聞と児童生徒を結びつけていく機会を意図的に設定していく。



新聞を活用した学習



(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	生徒指導検査実施		
概要	<p>学校環境適応感尺度「アセス」を実施し、児童生徒の対人関係能力を育成するとともに、学校の人的環境への適応を促進する。</p> <p>「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、いじめ・不登校の具体的な支援策およびリスクの高い児童生徒への個別の対応について講義と演習を行い、教員の指導力の向上を目指す。</p>		
計画	<p>○検査対象 小学校3年生から中学校3年生</p> <p>○「いじめ・不登校対策研修講座」で不登校への対応とSOSの出し方に関する方法を学び、各校で実践する。</p>	実績・成果	<p>○実施時期や実施回数については、各校の実態に合わせて「アセス」を実施した。</p> <p>○成果と課題をまとめた生徒指導検査実施報告書を年度末に作成し、教育系イントラネット上に掲載することで校内研修の一助とした。</p>
予算	<p>予算額 0 円</p> <p>(内訳) 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p> <p>(内訳) 円</p>
課題	<p>○学校事情等により「アセス」を実施できなかったり、年1回の実施に終わった学校があったりした。</p> <p>○各校に配付済みの「アセス」のCD-Rが、学校の新しいPCに対応せず不具合が生じることがあった。</p>	今後の方針	<p>○「アセス」を活用し、学年・学級経営や生徒指導上の課題や対応状況についてまとめた「生徒指導検査実施報告書」を各校に継続して配付し、今後の指導や対応に活かしていく。</p> <p>○最新版「アセス」を各校に配備していく。</p>

※学校環境適応感尺度「アセス」：児童生徒の学級での適応状態や満足度を測る心理検査

事業名	いじめ問題対策委員会開催		
概要	<p>むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。</p>		
計画	<p>○いじめ問題対策委員会を開催する。 (年1回、委嘱期間2年)</p>	実績・成果	<p>○開催日：令和元年7月1日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：10人 (医師1人、心理・福祉関係3人、教育関係2人、健全育成関係4人)</li> <li>・任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日</li> <li>・前年度のいじめ防止に関する取組の報告と今年度の取組の予定を確認した。</li> <li>・弁護士に臨時委員を依頼した。</li> </ul>
予算	<p>予算総額 110,373 円</p> <p>(内訳) 報酬 52,000 円 旅費 28,373 円 負担金 30,000 円</p>	決算	<p>決算総額 94,551 円</p> <p>(内訳) 報酬 45,500 円 旅費 19,051 円 負担金 30,000 円</p>
課題	<p>各校のいじめ防止基本方針について、点検・見直しといじめ防止プログラムの策定が学校の実態に応じて行われているかを確認するとともに、保護者や地域への周知を進める必要がある。</p>	今後の方針	<p>校長会と教育委員会との合同会議や、生徒指導担当者が出席する学校警察連絡協議会の定例協議会等を利用し、各校への周知を図っていく。</p>

事業名	むつ市いじめ防止宣言フォーラム開催		
概要	「いじめ根絶」に向けた児童・生徒会活動に対する理解を深めるとともに、児童生徒をいじめから守り、市民総がかりでいじめ防止に取り組むという意識の啓発を図る。		
計画	○令和元年11月8日 ・関根中学校ブロック	実績・成果	○開催日：令和元年11月8日 ・いじめの未然防止に向けた各校の取組を発表（関根小、関根中） ・関根中全校生徒による演劇「学校童子」の発表 ・関根小・中学校「いじめま宣言」の発表及び合唱 ・参加者：108人
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 消耗品費 30,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 消耗品費 0 円
課題	少しでも多くの保護者や地域の方にフォーラムへ参加していただけるよう周知していく必要がある。	今後の方針	開催校を通して、フォーラムの開催案内を保護者・地域の方に広く周知するとともに、終了後にフォーラムの様子を掲載したリーフレットの配付やむつ市HPへの掲載を継続していく。



いじめ防止宣言フォーラム(関根小・中)



関根中 演劇「学校童子」

(5) 特別支援教育体制の充実

事業名	スクールサポーター配置事業		
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○33人を配置する。</li> <li>○1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○配置人数：33人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校：8校 26人</li> <li>・中学校：4校 7人</li> </ul> </li> <li>○任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日</li> <li>○1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用した。</li> </ul>
予算	予算総額 37,649,271 円 (内訳) 報酬 34,412,400 円 旅費 3,236,871 円	決算	決算総額 36,137,728 円 (内訳) 報酬 33,278,960 円 旅費 2,858,768 円
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年4月より会計年度任用職員となることにより、これまでとの変更点について明確にする必要がある。</li> <li>○年度途中で退職者が出た際に、すぐに次のスクールサポーターが見つからない時期があったため、人材を確保する必要がある。</li> </ul>	今後の方針	令和2年4月より会計年度任用職員となるため、勤務時間の調整等について繰り返し周知していく。

事業名	就学事務説明会・就学相談研修会開催		
概要	未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所（園）・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもって、より充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所（園）・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開催日：令和元年5月8日</li> <li>○参加者：コーディネーター 22人 幼保担当者 22人 町村担当者 4人</li> <li>○就学指導の手続きの説明や講義、就学相談における問題点についてのグループ協議や情報交換を行った。</li> <li>○各関係機関等との連携が図られ、早期の就学相談が進められた。</li> </ul>
予算	予算総額 13,520 円 (内訳) 報酬 6,000 円 旅費 7,520 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 報酬 0 円 旅費 0 円
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早期からの就学相談や各機関との連携により適切な就学につながるよう、説明会・研修会の内容を充実させていく必要がある。</li> </ul>	今後の方針	研修後のアンケート等を生かし、保育所（園）・幼稚園と小学校それぞれのニーズに応じた説明会・研修会を実施する。

事業名		特別支援教育推進委員会開催																																											
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで能力及び特性に応じたきめ細かな指導や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断並びに学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。																																												
計画	○年4回の開催だが、学校や保護者の要望により、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績・成果	○定期開催：4回 ・第1回：令和元年5月16日 委員16人 専門調査員9人 ・第2回：令和元年9月19日 委員14人 専門調査員10人 ・第3回：令和元年11月28日 委員16人 専門調査員9人 ・第4回：令和2年2月13日 委員16人 ○臨時開催：6回 ○対象児童生徒数：76人																																										
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,457,948</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>164,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>460,988</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>66,960</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>75,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>675,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>16,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	1,457,948	円	(内訳) 報酬	164,000	円	旅費	460,988	円	消耗品費	66,960	円	手数料	75,000	円	備品購入費	675,000	円	負担金	16,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,311,116</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>91,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>463,804</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>60,802</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>4,510</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>675,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>16,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	1,311,116	円	(内訳) 報酬	91,000	円	旅費	463,804	円	消耗品費	60,802	円	手数料	4,510	円	備品購入費	675,000	円	負担金	16,000	円
予算総額	1,457,948	円																																											
(内訳) 報酬	164,000	円																																											
旅費	460,988	円																																											
消耗品費	66,960	円																																											
手数料	75,000	円																																											
備品購入費	675,000	円																																											
負担金	16,000	円																																											
決算総額	1,311,116	円																																											
(内訳) 報酬	91,000	円																																											
旅費	463,804	円																																											
消耗品費	60,802	円																																											
手数料	4,510	円																																											
備品購入費	675,000	円																																											
負担金	16,000	円																																											
課題	専門検査を必要とする児童生徒が増加する一方で、検査を行うことができる教員が不足している。また、一つの学校に委員、専門調査員が複数いる状況も見られ、同時に推進委員会に出席することが難しい場合がある。	今後の方針	専門調査員の人数確保のため、「心理検査を生かした指導改善研修講座」の充実や退職者への依頼等を継続していく。																																										

## (6) 教育相談活動の充実

事業名		むつ市教育相談室開設																									
概要	いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに適応指導などを行うことによって、児童生徒が健全に成長するよう援助する。																										
計画	○むつ市教育研修センターに教育相談員2人を配置する。 ○むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設し、教育相談員を中心に児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。	実績・成果	○教育相談員配置人数：2人 ○任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日 ○教育相談件数 ・来室：1,319件 ・電話：3件 ・家庭訪問：0件																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>3,009,496</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>2,732,400</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>56,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>221,096</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	3,009,496	円	(内訳) 報酬	2,732,400	円	報償費	56,000	円	旅費	221,096	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>2,681,876</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>2,486,400</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>42,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>153,476</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	2,681,876	円	(内訳) 報酬	2,486,400	円	報償費	42,000	円	旅費	153,476	円
予算総額	3,009,496	円																									
(内訳) 報酬	2,732,400	円																									
報償費	56,000	円																									
旅費	221,096	円																									
決算総額	2,681,876	円																									
(内訳) 報酬	2,486,400	円																									
報償費	42,000	円																									
旅費	153,476	円																									
課題	○不登校に関する相談の場合、教育相談のみで終結しないケースに関しては、適応指導教室の見学や通室を提案し、再登校に向けて適切な支援をする必要がある。 ○教育相談室が、通室する児童生徒と保護者に対して定期的な面談を実施し、学校に情報提供することで、学校につなぐ役割を果たす必要がある。	今後の方針	今後、保護者面談等の一層の充実を図るために、教育相談室と適応指導教室の運営体制を更に改善し、一人一人に応じた長期目標と短期目標を明確にすることで、より見通しをもった指導ができるようにする。																								

事業名	自立支援相談員配置事業		
概要	不登校などの悩みを抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、適応指導教室に通室している児童生徒の実情を細かく把握し、適切な援助を行う。		
計画	<p>○むつ市教育研修センターに自立支援相談員を6人配置する。</p> <p>○不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。</p>	実績・成果	<p>○自立支援相談員配置人数：6人</p> <p>○任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日</p> <p>○適応指導教室通室生3人に対し、延べ282時間程度の支援を行った。</p>
予算	<p>予算総額 7,033,430 円</p> <p>(内訳) 報酬 6,256,800 円</p> <p>旅費 776,630 円</p>	決算	<p>決算総額 6,151,457 円</p> <p>(内訳) 報酬 5,900,400 円</p> <p>旅費 251,057 円</p>
課題	自立支援相談員の人員の入れ替わりにより、通室生に対する支援力が下がらないよう工夫が必要である。	今後の方針	自立支援相談員の通室生への支援力を高めるため、教育相談に関する研修を実施し、適切な支援が行えるようにする。

事業名	適応指導教室開設		
概要	むつ市教育相談室に適応指導教室を開設し、不登校をはじめとする学校不適応などの課題を抱える児童生徒の学校復帰に向けた指導と支援を行う。		
計画	○不登校等の悩みを抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績・成果	<p>○適応指導を受けた児童生徒：23人</p> <p>○実施した行事等 開閉級式、始業式、終業式、バス遠足、テニス教室、音楽教室、自然体験活動、文化祭、調理実習、図書館利用活動、クリスマス会、科学技術館体験、救命救急講習</p>
予算	<p>予算総額 110,240 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 100,000 円</p> <p>食糧費 4,100 円</p> <p>使用料 1,140 円</p> <p>負担金 5,000 円</p>	決算	<p>決算総額 107,060 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 100,920 円</p> <p>食糧費 0 円</p> <p>使用料 1,140 円</p> <p>負担金 5,000 円</p>
課題	通室生の学校復帰に向けて、個に応じたきめ細かな支援体制を構築する必要がある。	今後の方針	<p>○個別の支援計画を基に、組織的・計画的な支援を継続して行う。</p> <p>○適応指導プログラムにSELのエクササイズを取り入れる等充実させることで、学校復帰に向けて必要なスキルと内面的なエネルギーを蓄えられるようにする。</p>

※SEL (Social and Emotional Learning) : 相手の表情やしぐさなどから感情を量ることを学び、他者への思いやりや気遣いといった社会的能力を身に付けるための心理教育プログラム

(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

事業名		外国語指導助手（ALT）派遣事業																									
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。																										
計画	○ALT5人のうち、小学校4人、中学校1人を配置し、外国語活動、英語科の授業等において活用を図る。	実績・成果	○ALT配置人数 ・小学校：4人 ・中学校：1人 ○1学級あたりの年間活用時間 ・小学校：約30時間 ・中学校：約15時間 ○3月には、市内小学校6年生を対象とした英会話ワークショップ“Enjoy English”の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>17,980,226</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>16,643,789</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>853,457</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>482,980</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	17,980,226	円	(内訳) 報酬	16,643,789	円	旅費	853,457	円	負担金	482,980	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>17,820,637</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>16,509,955</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>775,322</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>535,360</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	17,820,637	円	(内訳) 報酬	16,509,955	円	旅費	775,322	円	負担金	535,360	円
予算総額	17,980,226	円																									
(内訳) 報酬	16,643,789	円																									
旅費	853,457	円																									
負担金	482,980	円																									
決算総額	17,820,637	円																									
(内訳) 報酬	16,509,955	円																									
旅費	775,322	円																									
負担金	535,360	円																									
課題	小学校は新学習指導要領完全実施となり、学習内容が増え、具体的な評価が求められる。また、今後低学年の英語活動の時間を増やす学校も予想されるが、現在ALTの小学校への訪問率は42%であり、指導者を十分に補助できる訪問回数とは言えないため、現在の体制を維持しつつ、指導者のスキルの向上にも取り組む必要がある。	今後の方針	児童生徒の充実した学びを確保するために、ALT5人体制を継続し、学級担任と連携しながら学校の実情にあった対応をすべきである。																								

事業名		むつ市ジュニア大使派遣事業																																																																			
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルズ市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。																																																																				
計画	○中学生10人を7日間の行程で派遣する。 ○事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。	実績・成果	○派遣人数：10人 ○派遣期間：令和2年1月6日～1月12日 7日間 ○「将来のまちづくり共同宣言」に基づき、両市のまちづくりについて意見交換を行った。 ○ホームステイや学校訪問を通じて、異文化交流を深めた。 ○事前・事後研修会を開催し、報告書を作成した。																																																																		
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>6,277,946</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>88,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>920,855</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>52,800</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>120,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>電話料</td> <td>11,610</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>郵便宅配料</td> <td>12,780</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>30,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,981,901</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>10,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	6,277,946	円	(内訳) 報酬	88,000	円	旅費	920,855	円	消耗品費	50,000	円	印刷製本費	52,800	円	食糧費	120,000	円	電話料	11,610	円	郵便宅配料	12,780	円	手数料	30,000	円	委託料	4,981,901	円	使用料	10,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>7,069,068</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>99,940</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>2,541,725</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>29,917</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>53,900</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>127,945</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>電話料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>郵便宅配料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,215,641</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	7,069,068	円	(内訳) 報酬	99,940	円	旅費	2,541,725	円	消耗品費	29,917	円	印刷製本費	53,900	円	食糧費	127,945	円	電話料	0	円	郵便宅配料	0	円	手数料	0	円	委託料	4,215,641	円	使用料	0	円
予算総額	6,277,946	円																																																																			
(内訳) 報酬	88,000	円																																																																			
旅費	920,855	円																																																																			
消耗品費	50,000	円																																																																			
印刷製本費	52,800	円																																																																			
食糧費	120,000	円																																																																			
電話料	11,610	円																																																																			
郵便宅配料	12,780	円																																																																			
手数料	30,000	円																																																																			
委託料	4,981,901	円																																																																			
使用料	10,000	円																																																																			
決算総額	7,069,068	円																																																																			
(内訳) 報酬	99,940	円																																																																			
旅費	2,541,725	円																																																																			
消耗品費	29,917	円																																																																			
印刷製本費	53,900	円																																																																			
食糧費	127,945	円																																																																			
電話料	0	円																																																																			
郵便宅配料	0	円																																																																			
手数料	0	円																																																																			
委託料	4,215,641	円																																																																			
使用料	0	円																																																																			

課題	現地での見学先や体験活動の内容の充実を図る必要がある。またホストファミリーが生徒の世話をするのに負担額が多いため、ホームステイ先がなかなか決まらない問題がある。	今後の方針	ポートエンジェルス市で充実した体験活動ができるように、活動費を費用に含める。
----	--	-------	--



むつ市ジュニア大使派遣事業

事業名	中華民国陽明國民中学との友好交流事業																																		
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問をとおして交流を図る。																																		
計画	○中華民国陽明國民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等をとおして交流する。	実績・成果	※訪問無し (中華民国陽明國民中学から、諸事情により訪問できなくなった旨の連絡があった。)																																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>421,920 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>70,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>20,440 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>48,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>233,740 円</td> </tr> <tr> <td>洗濯料</td> <td>9,240 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>10,500 円</td> </tr> </table>	予算総額	421,920 円	(内訳) 報償費	70,000 円	旅費	20,440 円	消耗品費	30,000 円	印刷製本費	48,000 円	食糧費	233,740 円	洗濯料	9,240 円	使用料	10,500 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算額</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>洗濯料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	消耗品費	0 円	印刷製本費	0 円	食糧費	0 円	洗濯料	0 円	使用料	0 円
予算総額	421,920 円																																		
(内訳) 報償費	70,000 円																																		
旅費	20,440 円																																		
消耗品費	30,000 円																																		
印刷製本費	48,000 円																																		
食糧費	233,740 円																																		
洗濯料	9,240 円																																		
使用料	10,500 円																																		
決算額	0 円																																		
(内訳) 報償費	0 円																																		
旅費	0 円																																		
消耗品費	0 円																																		
印刷製本費	0 円																																		
食糧費	0 円																																		
洗濯料	0 円																																		
使用料	0 円																																		
課題	中華民国陽明國民中学が11月、12月の時期に訪問を希望する可能性がある。学校が諸活動で多忙の時期であり、学校との連携が難しい面がある。	今後の方針	中華民国陽明國民中学と連絡を密にしながら、改善策を模索し、交流事業が実施できるようにする。																																

事業名	ジオパーク体験活動推進事業		
概要	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を補助する。		
計画	○ジオサイトを活用した校外学習にあたって、必要な経費の一部を補助する。	実績・成果	○小学校8校、中学校6校に補助した。 なお、ジオパークの学習は22校全ての学校で実施した。 ○ジオサイト等について調べたり体験したりして終わりではなく、ノートや新聞、班ポスター等にまとめる学校が増えた。
予算	予算総額 2,000,000 円 (内訳) 補助金 2,000,000 円	決算	決算総額 1,208,000 円 (内訳) 補助金 1,208,000 円
課題	○体験活動の事前・事後学習を、ガイドや講師を招いて行う学校が増えてきたので、一層の活用とこれらの実践を広く紹介していく必要がある。 ○補助方法が変更になるたびに、各学校では事務作業が負担となる。	今後の方針	ジオパーク体験活動を推進するため、補助方法の変更に伴う各学校の事務作業の負担軽減に協力する。

#### (8) 教育研修センター講座等の充実

事業名	教職員研修講座開設		
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるために授業改善等に係る研修講座を開催する。 また、講座内容の改善を図るため、各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。		
計画	○弘前大学教育学部との連携による授業づくり講座など18講座を開催する。 ○各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。	実績・成果	○開設講座：18講座 ○受講者数：延べ569人 ○主要教科等の全国的な研修会に参加した。 (3研修会に4名参加) ・東京学芸大学附属大泉小学校研究発表会 1人 ・秋田県学力向上フォーラム 1人 ・第47回筑波大学附属中学校研究協議会 2人 ○研修内容の活用事例 ・下北小中学校教育研究会算数・数学部会で秋田県学力向上フォーラムの内容を伝達講習 ・「秋田県との比較」「授業の質的改善」について学ぶよい機会になったとの所感が多数寄せられた。 ○プログラミング教育講座については、外部から講師を招き、授業に活用できる講座とした。 ○講座の期日については、場所を変えて1日2講座を実現したものもあった。
予算	予算総額 892,535 円 (内訳) 報償費 120,000 円 旅費 722,535 円 消耗品費 50,000 円	決算	決算総額 426,217 円 (内訳) 報償費 102,000 円 旅費 282,436 円 消耗品費 41,781 円
課題	○研修会の開催時期が11月と2月だったため、活用力育成講座や要請訪問の際に、研修した内容に基づく指導助言をすることはできたが、当該年度内の授業づくり講座で伝達するために派遣の時期を検討する必要がある。 ○学校規模によっては必修講座への参加が難しい場合もある。	今後の方針	○無理なく研修講座に参加できるよう、内容を検討し、必要に応じて講座数を削減する。 ○担当指導主事の研修会参加時期を検討し、授業づくり講座の内容改善に生かす。

(9) 弘前大学との連携強化

事業名		教育研修センター講座等連携	
概要	弘前大学教育学部との連携による国語、算数・数学、社会、理科、外国語活動・英語の「授業づくり講座」を実施し、下北・むつ市内の各小・中学校から必修で参加する中で、思考力・判断力・表現力等の育成を中心とした活用型の授業づくりを推進する。 また、「心と体の健康教育講座」を実施し、子どもの心と体に関する今日的な課題への対応を進める。		
計画	○5教科の授業づくり講座と養護教諭等を対象とした健康づくりに関する講座を開催し、テーマを活用型の授業づくりの研修会とする。小規模校からの参加にあたっては、過度な負担を課さないよう配慮する。  (* ) 4 件法 アンケート集計方法のひとつで、ある意見等に対する賛否の程度を「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」といった4段階の選択肢の中から一つ選んでもらう方法	実績・成果	○受講者数 ・国語：28人 ・算数・数学：36人 ・社会：29人 ・理科：29人 ・外国語活動・英語：32人 ・心と体の健康教育：17人 ○受講者アンケート (4件法(*)によるA評価の割合) ・国語：60.7% ・算数・数学：82.7% ・社会：83.3% ・理科：58.8% ・外国語活動・英語：77.4% ・心と体の健康教育：86.7% ○授業づくり講座では、学習指導要領との関わりを踏まえたものになるよう講師の方々に依頼し、演習も含めて内容が充実したものとなった。
予算	予算総額 275,145 円 (内訳) 報 償 費 120,000 円 旅 費 105,145 円 消 耗 品 費 50,000 円	決算	決算総額 236,197 円 (内訳) 報 償 費 102,000 円 旅 費 92,416 円 消 耗 品 費 41,781 円
課題	受講者アンケートでは、概ね肯定的な評価を得られたものの、コメント欄を見ると、次年度の講座で取り上げてもらいたい内容が寄せられているため、講師をお願いする弘前大学教育学部の先生方と連絡を取り合い、活用型の授業づくりというベースの部分は崩さず、より受講者のニーズに合わせた研修講座にしておく必要がある。	今後の方針	○受講者アンケートも参考にして、講座の内容を検討する。 ○弘前大学教育学部には、講座で教員に高めさせたい資質やスキルを明確に示し、ねらいに沿った形での講義を依頼する。

事業名		ラボ・バス実験教室	
概要	ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことをとおして科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	○第二田名部小学校を対象とし、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績・成果	○液体窒素を使った冷凍実験、ガスを使った大砲実験等を実施した。 ○参加者 ・第二田名部小学校6年生：66人
予算	予算総額 47,500 円 (内訳) 消 耗 品 費 47,500 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 消 耗 品 費 0 円
課題	ラボ・バス実験教室をとおし、事業に参加した児童に科学のおもしろさを実感させるとともに、大学生との交流をより深める運営の工夫を行う必要がある。	今後の方針	複数校の合同開催の在り方を工夫することで、各学校の業務の負担軽減を図るとともに、他校との交流を深めながら児童生徒が楽しく活動できるようにする。

※ラボ・バス：弘前大学が制作したバスで、「走る実験室」とも呼ばれ、電子顕微鏡等の科学機器を搭載し、県内各地で実験教室を開催している。

事業名	「健康の未来」を変えるプロジェクト授業																		
概要	社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、むつ市の健康課題の解決に向けた系統的な授業モデルと推進体制の構築に向け取り組む。 健康教育の授業を年間複数回TT（ティームティーチング）で行う。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施校の選定を行う。</li> <li>○開催に向けて日程調整を行う。</li> <li>○保護者の参加を呼びかける。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年6月3日 実施校：近川中学校 全校生徒20人、保護者</li> <li>○令和元年11月7日 実施校：大平中学校 2年生74人</li> </ul>																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">186,800 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">16,800 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">160,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	186,800 円	(内訳) 報償費	10,000 円	旅費	16,800 円	消耗品費	160,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">62,040 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">9,060 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">52,980 円</td> </tr> </table>	決算総額	62,040 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	9,060 円	消耗品費	52,980 円
予算総額	186,800 円																		
(内訳) 報償費	10,000 円																		
旅費	16,800 円																		
消耗品費	160,000 円																		
決算総額	62,040 円																		
(内訳) 報償費	0 円																		
旅費	9,060 円																		
消耗品費	52,980 円																		
課題	生活習慣と健康の結びつきについては、保健体育や家庭科の授業でも取り上げられているため、この授業に対するニーズが少ない。魅力ある授業にしたいものの、中路教授の要望で学校主体の授業となっている。	今後の方針	食育、運動、睡眠など、各教科よりも総合的な観点で授業ができること、専門の先生の助言をいただけることを中心に、各学校に対してアピールし、実施校を決定していく。																

#### (10) キャリア教育の充実

事業名	むつ市子ども夢育成基金														
概要	むつ市の小・中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子どもたちを育成するための安定的財源確保を目的とした基金を設立する。														
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣に補助する。</li> <li>○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣に補助する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣補助 875,800円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本吹奏楽コンクール東北大会</li> <li>・全日本英語弁論大会等</li> </ul> </li> <li>○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣補助 3,221,300円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北中学校体育大会 (陸上、水泳、ソフトテニス、 駅伝、スキー)</li> <li>・全国中学校体育大会等 (陸上、駅伝、スキー)</li> </ul> </li> <li>○基金積立金 1,900,000円</li> <li>○寄附金積立金 9件 2,212,056円</li> <li>○利子収入積立金 898円</li> <li>○平成31年度末基金残高 9,043,146円</li> <li>※平成30年度末基金残高 9,040,626円</li> </ul>												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">10,024,937 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 補助金</td> <td style="text-align: right;">5,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td style="text-align: right;">5,024,937 円</td> </tr> </table>	予算総額	10,024,937 円	(内訳) 補助金	5,000,000 円	積立金	5,024,937 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">8,210,054 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 補助金</td> <td style="text-align: right;">4,097,100 円</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td style="text-align: right;">4,112,954 円</td> </tr> </table>	決算総額	8,210,054 円	(内訳) 補助金	4,097,100 円	積立金	4,112,954 円
予算総額	10,024,937 円														
(内訳) 補助金	5,000,000 円														
積立金	5,024,937 円														
決算総額	8,210,054 円														
(内訳) 補助金	4,097,100 円														
積立金	4,112,954 円														
課題	事業を継続していくための財源の確保と、補助の申請が団体だけでなく個人でもできることを周知していく必要がある。	今後の方針	むつ市夢育成基金についてホームページや広報むつで周知し、申請書類等もホームページからダウンロードできるように整備していく。												

事業名	むつ市こども議会		
概要	むつ市の中学生が、市の中学生を代表するこども議員として姉妹都市である会津若松市の中学校を訪問し、交流活動を行うことで、姉妹都市の友好親善を図るとともに、次代を担う市民としての自覚を深める。		
計画	<p>○会津の歴史や文化を学ぶとともに、姉妹都市締結に至った背景を知る。</p> <p>○会津若松市長への表敬訪問やスクール議会、地元中学生との交流をとおして、将来のむつ市を担う市民としての自覚を深める。</p>	実績・成果	<p>○実施日：令和元年10月31日～11月2日 参加者：9校 13名</p> <p>○スクール議会にて、むつ市・会津若松市両市長、会津若松市教育長へ「姉妹都市を生かしたまちづくりの提言」を、会津若松市の中学生と行った。</p> <p>○12月の報告会及び自校での報告により、多くの中学生に事業の成果を周知することができた。</p>
予算	<p>予算総額 1,552,944 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 40,000 円 旅 費 118,655 円 消 耗 品 費 50,000 円 食 糧 費 8,000 円 手 数 料 5,000 円 委 託 料 1,244,529 円 借 上 料 80,000 円 使 用 料 6,760 円</p>	決算	<p>決算総額 1,280,106 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 39,849 円 旅 費 126,744 円 消 耗 品 費 48,879 円 食 糧 費 5,328 円 手 数 料 0 円 委 託 料 1,055,366 円 借 上 料 0 円 使 用 料 3,940 円</p>
課題	派遣事業を行う際には、学校教育課だけではなく他の部署からの協力も必要である。	今後の方針	会津若松市への派遣事業は市制施行60周年記念事業として実施したため、今後はこれまで通り、議会傍聴体験と模擬議会を交互に実施していく。

事業名	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学		
概要	<p>大学での体験活動をおして、将来の職業に対する意識と学習意欲を向上させるとともに、各中学校でのキャリア教育推進の一助とする。</p> <p>地域の医療や住民の健康状態等の現状と課題を知らせ、健康に対する意識を高め、健康的な生活を送る態度を育てるとともに、地域の課題解決に向けて積極的に関わろうとする意欲を持たせる。</p>		
計画	<p>○青森中央学院大学で体験活動を行う。</p> <p>○対象となる市内中学生を募集する。(定員30人)</p>	実績・成果	<p>○開催日：令和元年8月6日</p> <p>・参加人数14人 (田名部中、むつ中、関根中、大平中、大湊中、大畑中)</p> <p>・花田勝美学長による特別講演、キャンパスツアー、模擬授業、実習体験、ワークショップ</p> <p>○参加者の事後アンケートでは、大学への進学希望率が高くなった。(79%→100%)</p>
予算	<p>予算総額 24,000 円</p> <p>(内訳) 食 糧 費 24,000 円</p>	決算	<p>決算総額 13,334 円</p> <p>(内訳) 食 糧 費 13,334 円</p>
課題	将来の職業選択の一助とするために学校訪問でPRしたり、開催時期をお盆明けから8月上旬に繰り上げたりしたが、参加者が定員に満たなかったため、参加生徒を増やすさらなる工夫が必要である。	今後の方針	開催時期や内容について、中学生にとって魅力的な内容となるよう、大学の担当者と綿密に打ち合わせをしながら計画を立てていく。



事業名	キャリア教育推進事業		
概要	<p>キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に全国的な活躍をしている方の講話を聴く体験をとおして、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ、本市の未来を担う人材を育成することにつなげる。</p>		
計画	<p>○実施校の選定を行う。 ○開催に向けて日程調整を行う。</p>	実績・成果	<p>○令和元年6月11日 講 師：シンガーソングライター 実施校：近川中学校 全校生徒20人、保護者等</p> <p>○令和元年6月13日 講 師：動物写真家 実施校：大平中学校 全校生徒249人、保護者等</p> <p>○令和元年7月16日 講 師：フリーアナウンサー 実施校：第三田名部小学校 児童5・6年生33人</p> <p>○令和元年7月19日 講 師：救急救命士 実施校：むつ中学校 全校生徒186人、保護者等</p> <p>○令和元年9月2日 講 師：レスキュー隊長 実施校：川内小学校 児童5・6年生36人、保護者等</p> <p>○令和元年9月19日 講 師：町おこし活動家 実施校：脇野沢小・中学校 児童生徒19人、保護者</p> <p>○令和元年10月25日 講 師：シンガーソングライター 実施校：大湊小学校 児童4～6年生82人</p> <p>○令和元年10月28日 講 師：フリーアナウンサー 実施校：関根小学校 児童4～6年生22人、保護者</p> <p>○令和元年11月14日 講 師：フリーアナウンサー 実施校：大平小学校 児童5・6年生150人</p> <p>○令和元年12月17日 講 師：作家 実施校：大湊中学校 全校生徒47人、保護者等</p> <p>○事業後のアンケート結果 A評価の割合 99%</p>
予算	<p>予算総額 1,785,520 円 (内訳) 報 償 費 616,000 円 旅 費 1,169,520 円</p>	決算	<p>決算総額 655,596 円 (内訳) 報 償 費 189,000 円 旅 費 466,596 円</p>
課題	<p>今後、講師の職種の幅を広げていきたいが、漫画家や報道記者等、多忙で実現が難しい職種がある。</p>	今後の方針	<p>今後は講演会を希望する学校が増えることが予想されるため、講師の人数を増やし、児童生徒が講演会を通して、一層自己を見つめ直したり、自分の生き方を考える機会とする。</p>



キャリア教育推進事業(キャリア教育講演会 シンガーソングライター)

#### 4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

##### 【重点項目】

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの活用

#### ■ 重点項目の点検（令和元年度の具体的な取組状況） ■

##### (1) 公民館の適正管理と運営の充実

事業名		地区館長会議の開催	
概要	地区公民館長の会議において、適正な地区公民館の運営についての協議を行うとともに、年間の事業計画及び報告等を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川内地区公民館長会議、大畑地区公民館長会議を開催し、年間の事業説明及び適正な地区公民館運営についての説明を行う。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川内地区公民館長会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年10月10日</li> <li>・開催場所：川内公民館</li> <li>・出席者：地区公民館長 12人 事務局 2人</li> </ul> </li> <li>○大畑地区公民館長会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年5月15日</li> <li>・開催場所：大畑公民館</li> <li>・出席者：地区公民館長 5人 事務局 2人</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 448,000 円 (内訳) 報 酬 336,000 円 旅 費 112,000 円	決算	決算総額 356,309 円 (内訳) 報 酬 336,000 円 旅 費 20,309 円
課題	地区公民館の老朽化が進み、利用に不自由を来している。	今後の方針	危険度の高い箇所から順次改修し、安全に利用できるように事業を実施する。また、地区住民自ら実施できるよう材料費等を予算化し進めていく。

事業名		ジュニアリーダー研修会等各種事業参画	
概要	むつ市少年教育指導委員規則に基づき少年教育指導委員を配置し、青少年の健全な成長を図るため、少年教育に関する諮問に応じるほか、教育機関等が実施する少年教育事業に参画し、少年団体活動の基礎的倫理と専門的な技術指導や助言を行い、子ども会などで実践的な活動が出来るジュニアリーダーの育成に努める。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少年教育指導委員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアリーダー研修会のプログラムで立案及び研修での技術指導及び助言を行う。</li> <li>・人数：11人</li> <li>・任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日</li> </ul> </li> <li>○ジュニアリーダー研修会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・下北自然の家において1泊2日の研修を行い、野外活動、団体活動の理論と技術を習得させる。</li> <li>・対象：小学校4～6年生児童</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回少年教育指導委員会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年6月7日</li> <li>・案件：研修会の開催要項及びプログラムについて</li> <li>・出席委員：7人</li> </ul> </li> <li>○ジュニアリーダー研修会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年6月22日～6月23日</li> <li>・場所：下北自然の家</li> <li>・参加委員：7人</li> <li>・参加児童：36人</li> </ul> </li> </ul>

			○委嘱状交付式及び 第2回少年教育指導委員会議 ・開催日：令和元年7月12日 ・案件：研修会反省 ・出席委員：7人
予 算	予算総額 436,850 円 (内訳) 報酬 182,000 円 旅費 120,350 円 需用費 105,500 円 役務費 11,000 円 使用料及び賃借料 18,000 円	決 算	決算総額 381,603 円 (内訳) 報酬 169,000 円 旅費 96,232 円 需用費 89,031 円 役務費 10,340 円 使用料及び賃借料 17,000 円
課 題	ジュニアリーダー研修会中、病気・怪我・配慮が必要な子どもへの対応が十分に可能なだけの職員・専門家の確保が難しい。	今 後 の 方 針	ジュニアリーダー研修会は令和元年度をもって廃止。令和2年度以降はこどもゼミナールの実施内容を少年教育指導委員会議に諮り、技術指導・助言を生かしながら活動を行う。

【参考】○各中央館の利用状況

		令和元年度	平成30年度
中 央	回数	1,429回	1,506回
	人数	37,254人	39,014人
川 内	回数	147回	196回
	人数	3,173人	3,896人
大 畑	回数	990回	1,005回
	人数	14,242人	14,209人
脇野沢	回数	556回	579回
	人数	4,682人	5,109人

(2) 公民館事業の推進

事業名	市民大学及び各種講座開設事業																						
概要	自然、芸術、社会、歴史、生活、健康など学習ニーズに対応した講座を開設し、地域の方々の教養の向上、健康の増進、情操の涵養に資することで、心豊かな地域社会を目指す。																						
	○公開講座 : 10回 (講演会形式で登録以外でも受講できる。)	○公開講座及びゼミナールの開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>聴講者数</td> <td>延べ551人</td> <td>延べ587人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>81人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>ゼミナール</td> <td>20ゼミ</td> <td>22ゼミ</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>延べ320人</td> <td>延べ362人</td> </tr> <tr> <td>修了者数</td> <td>60人</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な講座】 ・地域文学、ニュースポーツなど</p>		令和元年度	平成30年度	公開講座	10回	10回	聴講者数	延べ551人	延べ587人	登録者数	81人	93人	ゼミナール	20ゼミ	22ゼミ	登録者数	延べ320人	延べ362人	修了者数	60人	62人
	令和元年度	平成30年度																					
公開講座	10回	10回																					
聴講者数	延べ551人	延べ587人																					
登録者数	81人	93人																					
ゼミナール	20ゼミ	22ゼミ																					
登録者数	延べ320人	延べ362人																					
修了者数	60人	62人																					

計 画	<p>○ゼミナール : 20ゼミ (実技を伴う数回シリーズで行われる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ地区 : 11ゼミ</li> <li>・川内地区 : 1ゼミ</li> <li>・大畑地区 : 4ゼミ</li> <li>・脇野沢地区 : 4ゼミ</li> </ul> <p>○C o - M i n k a n (現代版私設公民館) 増殖プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 3回</li> <li>・開催場所 中央公民館</li> <li>・公民館の役割である、つどう、学ぶ、むすぶ(連携する)を公民館以外にも広げることがめざし、誰もが自由に身近に集まる場所を開設するためのノウハウを学ぶ</li> </ul>	実績・成果	<p>○ゼミナールの地区別開催状況の内訳 (上段: 講座数 下段: 登録者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">むつ地区</td> <td>11ゼミ</td> <td>13ゼミ</td> </tr> <tr> <td>144人</td> <td>154人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内地区</td> <td>1ゼミ</td> <td>1ゼミ</td> </tr> <tr> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑地区</td> <td>4ゼミ</td> <td>4ゼミ</td> </tr> <tr> <td>71人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢地区</td> <td>4ゼミ</td> <td>4ゼミ</td> </tr> <tr> <td>48人</td> <td>118人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>20ゼミ</td> <td>22ゼミ</td> </tr> <tr> <td>273人</td> <td>362人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主なゼミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・料理、水彩画、陶芸、蕎麦打ちなど</li> </ul> <p>○C o - M i n k a n (現代版私設公民館) 増殖プロジェクト</p> <p>登録者 16名 延べ参加人数 36名</p> <p>第1回 7月19日 概論、対話手法、体験・企画など</p> <p>第2回 8月1日 実践論、対話手法など</p> <p>第3回 10月18日 実践報告11例発表</p>		令和元年度	平成30年度	むつ地区	11ゼミ	13ゼミ	144人	154人	川内地区	1ゼミ	1ゼミ	10人	9人	大畑地区	4ゼミ	4ゼミ	71人	81人	脇野沢地区	4ゼミ	4ゼミ	48人	118人	計	20ゼミ	22ゼミ	273人	362人
		令和元年度	平成30年度																												
むつ地区	11ゼミ	13ゼミ																													
	144人	154人																													
川内地区	1ゼミ	1ゼミ																													
	10人	9人																													
大畑地区	4ゼミ	4ゼミ																													
	71人	81人																													
脇野沢地区	4ゼミ	4ゼミ																													
	48人	118人																													
計	20ゼミ	22ゼミ																													
	273人	362人																													
予 算	<p>予算総額 1,642,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 778,000 円 旅 費 646,000 円 需 用 費 212,000 円 使 用 料 6,000 円</p>	決 算	<p>決算総額 1,187,238 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 501,000 円 旅 費 546,315 円 需 用 費 133,923 円 使 用 料 6,000 円</p>																												
課 題	<p>市民の学びの場としての「市民大学」は定着してきているが、新規の受講者数が伸び悩んでいる。</p>	今後の方針	<p>新規受講者の増加に重点を置き、講座案内等の周知方法に工夫を図っていく。</p>																												



令和元年度 むつ市民大学



事業名		婦人学級開催	
概要	女性としての生き方を考え、より豊かな人間性を育み、地域課題、生活課題に向き合うため「自ら学ぶ」学習活動を展開する。		
計画	<p>○むつ地区7学級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学級毎に地域に合った年間事業計画を立て、それに沿って活動するほか、他の学級等との合同学習に参加し交流を深める。</li> </ul>	実績・成果	<p>○学級長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成31年4月19日 参加者：7人</li> <li>開催日：令和2年2月14日 参加者：6人</li> </ul> <p>○学級長研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和元年6月6日 参加者：26人 三内丸山遺跡見学</li> </ul> <p>○合同学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回：令和元年5月24日 参加者：19人 選挙について</li> <li>第2回：令和元年9月24日 参加者：17人 ジオサイト見学（東通村方面）</li> </ul> <p>○郷土料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和元年10月10日 参加者：33人</li> <li>開催日：令和元年10月18日 参加者：30人</li> <li>開催日：令和元年10月23日 参加者：22名</li> <li>開催日：令和元年10月24日 参加者：29名</li> </ul>
予算	<p>予算総額 167,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 96,000 円 旅費 52,000 円 需用費 14,000 円 使用料 5,000 円</p>	決算	<p>決算総額 128,178 円</p> <p>(内訳) 報償費 74,000 円 旅費 38,990 円 需用費 9,568 円 使用料 5,620 円</p>
課題	学級生が高齢化し少なくなっているため、合同学習会・研修会等を開催し参加を促していく必要がある。	今後の方針	婦人学級長への連絡、学級開催日の訪問等をして、学習相談・指導を行い、学級活動の支援をしていく。



ジオサイト見学(東通村方面)



郷土料理教室

事業名		子ども向け各種講座開設	
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを行い、児童の健全育成を推進する。		
計画	<p>①子ども講座 ・夏休みや冬休みに小学生を対象に実施</p> <p>②子どもお楽しみ会 ・幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施</p> <p>③こども仕事体験館「GOOD JOB (グッジョブ) !!」(中央公民館) ・小学4～6年生を対象に、職業への理解促進とむつ市における就業活動について考えるきっかけをつくる。</p> <p>④その他・教室・講習会等 ・ものづくり体験 ・ねぶた囃子講習会 ・子どもねぶた合同運行</p>	実績・成果	<p>①子ども講座(中央公民館) ○パソコン教室 ・開催日：令和元年11月30日 ・参加者：18人 ○お菓子作り教室 ・開催日：令和元年12月21日 ・参加者：39人</p> <p>②子どもお楽しみ会(中央公民館) ○夏のお楽しみ会 ・中止 ○冬のお楽しみ会 ・開催日：令和元年12月15日 ・参加者：131人</p> <p>③こども仕事体験館「GOOD JOB (グッジョブ) !!」(中央公民館) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>④その他・教室・講習会等 ○ものづくり体験(川内公民館) ・開催日：通年 ・参加者：75人 ○ねぶた囃子講習会(大畑公民館) ・開催日：令和元年7月22日～7月24日 ・参加団体：6団体 ・参加者：延92人 ○子どもねぶた合同運行(大畑公民館) ・開催日：令和元年8月4日 ・参加団体：8団体 ・参加者：約300人</p>
予算	<p>予算総額 586,124 円</p> <p>(内訳) 報償費 373,000 円 旅費 47,124 円 需用費 166,000 円</p>	決算	<p>決算総額 304,693 円</p> <p>(内訳) 報償費 220,844 円 旅費 33,901 円 需用費 49,948 円</p>
課題	子ども向け講座は定員を超える申込みがあるなど人気があるため、よりニーズに合った講座を提供する必要がある。	今後の方針	令和2年度より小学生向け講座を「こどもゼミナール」へ統合し、様々な分野の講座を提供する。

事業名	分館長会議・分館地域づくり講座開催		
概要	市民が共に集い、学び合う場を提供し、活気あふれる地域社会づくりの推進を目的とする。		
計画	<p>○分館長会議を年度当初に開催</p> <p>○分館地域づくり講座 (対象：16分館)</p>	実績・成果	<p>○中央公民館分館長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成31年4月16日</li> <li>・開催場所：中央公民館</li> <li>・案件：①平成30年度公民館事業報告について ②2019年度公民館事業計画について ③分館地域づくり講座の説明</li> </ul> <p>○分館地域づくり講座 (大曲分館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年11月10日</li> <li>・講座内容：絵はがきの書き方・手法講座</li> <li>・参加者：9人</li> </ul> <p>(宇曾利川分館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和元年12月1日</li> <li>・講座内容：としなづくり講座</li> <li>・参加者：6人</li> </ul> <p>(最花分館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和2年1月20日</li> <li>・講座内容：神道講座</li> <li>・参加者：13人</li> </ul>
予算	<p>予算総額 181,080 円</p> <p>(内訳) 報 酬 104,000 円 報 償 費 12,000 円 旅 費 63,080 円 需 用 費 2,000 円</p>	決算	<p>決算総額 147,650 円</p> <p>(内訳) 報 酬 84,500 円 報 償 費 12,000 円 旅 費 50,655 円 需 用 費 495 円</p>
課題	各分館において地域づくり講座を積極的に実施していく必要がある。	今後の方針	地区館の活動を広報などにより照会することで、参加者の増加や、幅広い活動ができるよう促していく。

事業名	【再掲】こども仕事体験館「GOOD JOB (グッジョブ) !!」		
概要	未来ある子ども達が様々な職と出逢い、体験できる場を提供することで、むつ市での将来の生活について考えるきっかけをつくる。あわせて、出展者となる職業人が自分の職を周知し、人手不足等の問題解決の一助となる場を提供する。		
計画	<p>○中央公民館で職業毎のコーナーに分かれて体験し、職業への理解促進とむつ市における就業活動について考えるきっかけをつくる。</p> <p>○開催予定日：令和2年3月15日</p> <p>○場所：中央公民館</p>	実績・成果	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
予算	<p>予算総額 200,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 100,000 円 需 用 費 100,000 円</p>	決算	<p>決算総額 14,010 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 0 円 需 用 費 14,010 円</p>
課題	地域に根ざした職種で他にも後継者問題等課題を有するものがある。	今後の方針	幅広い職種を候補として挙げ、児童のニーズに応じて、体験の場を提供する。

(3) 社会教育団体等の育成支援

事業名		各団体への指導・助言	
概要	<p>婦人教育分野、団体育成について社会教育指導員を配置し、直接指導及び学習相談に応じるなどして育成を行う。少年教育分野、団体育成については職員の人的援助等により助成、育成を行う。</p>		
計画	<p>○中央公民館に社会教育指導員（1名）を配置し、婦人教育の直接指導及び学習相談等、並びに社会教育団体の育成を行う。</p>	実績・成果	<p>①むつ地区連合婦人会 ○第44回むつ地婦人体育まつり ・開催日：令和元年7月28日 ・場 所：第二田名部小学校 ・参加団体：13団体、3福祉施設</p> <p>②むつ市連合婦人会 ○第41回むつ市婦人芸能発表会 ・開催日：令和2年2月23日 ・場 所：14団体、4施設</p> <p>③下北連合婦人会事務局 ○令和元年度総会及び研修会 ・開催日：令和元年5月10日 ・場 所：中央公民館 ・参加者：63人</p> <p>○幹部研修会 ・開催日：令和元年9月22日 ・場 所：東通村体育館 ・参加者：90人</p> <p>④下北地区子ども会育成連合会事務局 ○第35回下北地区子ども会郷土芸能発表会 ・開催日：令和2年2月2日 ・場 所：下北文化会館 ・参加団体：6団体</p>
予算	<p>予算総額 1,205,000 円</p> <p>(内訳) 負担金補助及び交付金 1,205,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,176,710 円</p> <p>(内訳) 負担金補助及び交付金 1,176,710 円</p>
課題	<p>○婦人団体は、新たに入会する人が少なく、高齢化が進んでいる。</p> <p>○子ども会は、少子化や児童・生徒の活動の多様化により、会員数が減少している。またそれぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者が減少している。</p>	今後の方針	<p>○今後の継続を視野に入れた育成支援をしていく必要がある。</p> <p>○少子化や多様化に即した対応策を検討していく必要がある。</p>

事業名		公民館まつりの開催										
概要	<p>各中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の利用団体等が制作した作品の展示や、日頃の活動の成果を実演を交えて紹介する等の発表する場を設け、各団体との交流と活動の更なる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。</p>											
	<p>○公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実演・体験指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。各中央館で開催する。</p>		<p>○中央公民館 ・開催日：令和元年9月7日～9月8日</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>25団体</td> <td>31団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>831人</td> <td>1,012人</td> </tr> </table>		令和元年度	平成30年度	参加団体	25団体	31団体	来場者数	831人	1,012人
	令和元年度	平成30年度										
参加団体	25団体	31団体										
来場者数	831人	1,012人										

計 画		実績・成果	○川内公民館 ・開催日：令和元年10月20日	○川内公民館 ・開催日：令和元年10月20日	
				令和元年度	平成30年度
			参加団体	3団体	2団体
			来場者数	385人	369人
		○大畑公民館 ・開催日：令和元年10月26日～10月27日	○大畑公民館 ・開催日：令和元年10月26日～10月27日		
			令和元年度	平成30年度	
		参加団体	23団体	25団体	
		来場者数	667人	595人	
		○脇野沢公民館 ・開催日：令和元年11月3日	○脇野沢公民館 ・開催日：令和元年11月3日		
			令和元年度	平成30年度	
		参加団体	6団体	6団体	
		来場者数	131人	126人	
予 算	予算総額 351,400 円 (内訳) 報 償 費 210,000 円 需 用 費 86,400 円 役 務 費 55,000 円	決 算	決算総額 255,418 円 (内訳) 報 償 費 142,000 円 需 用 費 61,963 円 役 務 費 51,455 円		
課 題	参加団体・来館者が減少傾向にあり、作品数も少なくなっている。	今 後 の 方 針	○利用実績のある団体に対し積極的に参加を呼びかけ、新規来館者の開拓に努める。 ○公民館まつりでの発表を通して、地域住民との交流が図られており、地域交流の場として継続して支援していく。		



大畑公民館まつり

事業名		社会教育指導員配置事業																			
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、婦人教育分野についての直接指導及び学習相談、並びに社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。																				
計画	○中央公民館に社会教育指導員を1人配置する。 (むつ市社会指導員に関する規則第4条により指導員の委嘱期間は1年とする。ただし、再任を妨げない。)	実績・成果	○婦人教育担当：1人 ○任期：平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 ○婦人学級や婦人会等女性団体の事業並びに青少年教育事業について指導・支援し、各種教育の振興に効果的な役割を果たした。																		
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,628,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>1,556,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>72,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	1,628,000	円	(内訳) 報酬	1,556,000	円	旅費	72,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,624,760</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>1,555,200</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>69,560</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	1,624,760	円	(内訳) 報酬	1,555,200	円	旅費	69,560	円
予算総額	1,628,000	円																			
(内訳) 報酬	1,556,000	円																			
旅費	72,000	円																			
決算総額	1,624,760	円																			
(内訳) 報酬	1,555,200	円																			
旅費	69,560	円																			
課題	○婦人団体は、新たに入会する人が少なく、高齢化が進んでいるため、今後の継続を視野に入れた育成支援をしていく必要がある。 ○子ども会は、少子化や児童・生徒の活動の多様化により、会員数が減少している。またそれぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者が減少しているため、時代の変化に即した対応策を検討していく必要がある。	今後の方針	婦人教育、青少年教育以外の団体、サークルにも指導、助言ができるようスキルアップを図っていく。																		

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名		下北美術展の開催	
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の出品作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。		
計画	<p>○児童・生徒の部 開催 （絵画、版画、書道）</p> <p>○高校・一般の部 開催 （絵画、写真、書道）</p>	実績・成果	<p>○児童・生徒の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数：2,462点</li> <li>・入賞数：558点</li> <li>・展覧会 期間：令和元年8月10日～8月25日 場所：中央公民館</li> </ul> <p>○高校・一般の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数：106点</li> <li>・入賞数：40点</li> <li>・展覧会 期間：令和元年10月4日～14日 場所：中央公民館</li> </ul> <p>※主催は「下北地方公民館連絡協議会」で、下北地方5市町村から負担金を徴収して開催しているが、むつ市が主管となっている。</p>
予算	<p>予算総額 436,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 25,000 円</p> <p>負 担 金 411,000 円</p>	決算	<p>決算総額 436,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 25,000 円</p> <p>負 担 金 411,000 円</p>
課題	令和元年度は他町村での移動展を行うことができなかった。		<p>今後の方針</p> <p>児童・生徒の部は、学校と連携を図り多くの優れた作品を紹介することができた。 高校・一般の部についても地域の芸術文化の振興に寄与している事業であるため、他町村においても移動展を開催してもらうよう呼びかけ、多くの地域の方々に芸術に触れていただく機会を増やしていく。</p>



下北美術展

事業名	市民大学一日体験入学		
概要	大学での講義・実技講習等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で感じることにより、学ぶ楽しさを実感してもらい生涯学習の一層の充実を図る。		
計画	○青森明の星短期大学一日体験入学	実績・成果	○青森明の星短期大学一日体験入学 介護体験「車イスを体験してみよう」 ・開催日 令和元年9月25日 ・参加者数 13人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
課題	一日体験入学のニーズはあるものの、市外での体験入学となるため、参加できる人数に限りがある。	今後の方針	一日体験入学希望者のニーズに応えられるよう実施方法や場所について検討していく必要がある。

事業名	子どもネブタ合同運行支援		
概要	夏休み期間中、創造力と自主性、協調性を養うとともに豊かなふるさとの行事を意識させ郷土愛を育てるために実施されている子どもネブタの運行委員会への支援、事業協力を行う。		
計画	○田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・合同運行の事業協力を行う。	実績・成果	○むつ市子どもネブタ運行委員会総会 ・開催日：令和元年6月8日 ○むつ市子どもネブタ合同運行 ・開催日：令和元年7月27日 ・参加台数：9台 (公民館では人的援助を行っている)
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
課題	子どもネブタ合同運行については、運行の中心となる子どもの数が減少し、それに伴い地域の子どもを支援する大人や、合同運行への参加台数も少なくなっている。	今後の方針	人的援助を積極的に行い、事業継続へ協力する。

事業名	かきぞめ大会の開催		
概要	子ども達が筆に親しみ、日本の伝統美に対する心を養うことを目的に、小・中学生を対象としたかきぞめ大会を開催し、作品の展覧会及び優秀作品の表彰式を行う。		
計画	①かきぞめ大会（4地区で実施） ○むつ会場（中央公民館） ○川内会場（川内公民館） ○大畑会場（大畑公民館） ○脇野沢会場（脇野沢地域交流センター）	実績・成果	①かきぞめ大会 ○むつ会場 ・開催日：令和2年1月11日 ・参加者：87人（内訳）小学生64人 中学生23人 ○川内会場 ・開催日：令和2年1月8日 ・参加者：16人（内訳）小学生16人 ○大畑会場 ・開催日：令和2年1月11日 ・参加者：15人（内訳）小学生14人 中学生 1人 ○脇野沢会場 ・実施せず

	②展覧会 ○中央公民館  ③表彰式 ○中央公民館		②展覧会 ・開催日：令和2年1月18日～26日 ・入場者：574人 ・入賞数：78点（特選：13点、準特選：23点、入選：42点）  ③表彰式 ・期 日：令和2年1月25日 ・出席者：32人
予 算	予算総額 159,221 円 (内訳) 報 償 費 59,000 円 旅 費 14,221 円 需 用 費 86,000 円	決 算	決算総額 146,684 円 (内訳) 報 償 費 59,000 円 旅 費 14,110 円 需 用 費 73,574 円
課題	年々、かきぞめ大会参加者が減ってきている。	今後の方針	日本の伝統である「書初め」を継続していくためにも、学校と連携を図り、参加者を募集していく。



かきぞめ大会

### (5) 視聴覚ライブラリーの活用

事業名	広報等によるPR強化		
概要	視聴覚教材の多様化に対応し、教材の整備について研究を行うほか、教材目録の発行、広報等によるPRを強化して活用を図る。		
計画	○16ミリ映画上映会 10回 ○全国視聴覚教育連盟からの情報収集	実績・成果	16ミリ映画上映会 10回 延べ255人
予算	予算総額 10,000 円 (内訳) 負 担 金 10,000 円	決算	決算総額 10,000 円 (内訳) 負 担 金 10,000 円
課題	16ミリフィルム、VHSビデオテープなど、現在ほとんど使われていない媒体の教材について、DVDやブルーレイの媒体に変換ができないか検討を要する。	今後の方針	再生機器がなくなっているVHSビデオテープ媒体の教材について、他の媒体に移行できないか検討し、有効活用を図っていく。

## 5 図書館

### 【重点項目】

- (1) 図書館施設の適正管理
- (2) 図書館サービス活動の充実
- (3) 利用者ニーズに即した資料整備
- (4) 子どもの読書活動の推進

### ■ 重点項目の点検（令和元年度の具体的な取組状況） ■

#### (1) 図書館施設の適正管理

事業名	図書館施設・設備の保守管理業務委託		
概要	地域の交流の場である図書館(本館、川内・大畑・脇野沢の各分館)の適正な整備と維持管理を行い、利用者に快適な活動空間の提供を目指す。		
計画	○年間を通じて、施設・設備の適切な整備及び維持管理を行う。	実績・成果	○各種整備、維持管理を行うことで、施設の安全性と利用者に対する快適性が保たれた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生管理業務委託</li> <li>・空気調和設備保守点検業務委託</li> <li>・植栽管理業務委託</li> <li>・自家用電気工作物保守点検業務委託</li> <li>・消防用設備保守点検業務委託</li> <li>・給排水設備保守点検業務委託</li> <li>・警備業務委託</li> <li>・視聴覚機器保守管理業務委託</li> <li>・自動扉保守点検業務委託</li> <li>・除排雪業務委託</li> </ul>
予算	予算総額 18,685,000 円 (内訳) 委託料 18,685,000 円	決算	決算総額 17,777,820 円 (内訳) 委託料 17,777,820 円
課題	施設・設備ともに老朽化に伴う不具合が生じやすくなっている。	今後の方針	適切にメンテナンスをすることにより施設の安全性を図り、利用者に対し安心且つ快適に使用して頂く。



むつ市立図書館 正面

事業名	図書館施設・設備の改修及び修繕		
概要	施設・設備の改修及び修繕箇所がないか点検し利用者の安全と安心を確保する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設諸修繕</li> <li>○電気機器修繕</li> <li>○公用車車検・整備費</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランプ交換</li> <li>○水槽ボールタップ漏水修理</li> <li>○防煙スクリーン部品交換修繕</li> <li>○職員トイレドアロック修繕</li> <li>○ウォータークーラー排水漏れ修繕</li> <li>○多目的トイレ改修工事</li> <li>○展示ホール系統室外機器交換工事</li> <li>○ネットワークHD交換</li> </ul>
予算	予算総額 932,000 円 (内訳) 消耗品費 269,000 円 修繕料 364,000 円 工事請負費 299,000 円 備品購入費 0 円	決算	決算総額 2,138,357 円 (内訳) 消耗品費 217,884 円 修繕料 521,853 円 工事請負費 1,365,620 円 備品購入費 33,000 円
課題	老朽化に伴う修繕必要箇所が次々発生している。特に空調関連機器修繕等が増加している。 また、開館当時から照度が不十分な場所があり、LED化等の大規模改修が必要である。	今後の方針	優先度を見極め順次対応していく必要があるが、休館日が限られているため、長期間の修繕及び改修については、各業者と協議、調整をしながら対応していきたい。



多目的トイレ改修

## (2) 図書館サービス活動の充実

事業名	図書館協議会の開催		
概要	図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて館長に意見を述べる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館協議会を開催する。</li> <li>・委員定数：10人以内</li> <li>・任期：2年</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館協議会委員：9人</li> <li>・任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日</li> <li>○協議会の開催</li> <li>・第1回：令和元年6月24日 9人出席</li> <li>・第2回：令和2年1月21日 8人出席</li> </ul>
予算	予算総額 309,000 円 (内訳) 報酬 195,000 円 費用弁償 114,000 円	決算	決算総額 155,945 円 (内訳) 報酬 97,500 円 費用弁償 58,445 円
課題	図書館運営及び各種事業について、各委員から意見をいただいているが、委員の知見を深めるため、新規開館した図書館視察の検討も必要と思われる。	今後の方針	図書館運営及び各種事業について意見をいただきながら事業活動を進めつつ、視察について委員の希望を確認しながら検討していく。

事業名	図書館奉仕員の配置による相談業務及び企画事業の充実		
概要	<p>図書館奉仕員は利用者への窓口サービスの大部分を担っている。その中でもレファレンス(調査相談業務)は図書館業務の中で最も重要な業務であり、奉仕員の知識・経験を活かすためにも継続的な配置が必要となる。</p> <p>奉仕員の知識や技術を活かし、様々なイベントや展示を企画・実施することで、利用者に図書館を身近に感じてもらう機会を提供できる。</p>		
計画	<p>○図書館奉仕員を12人配置し、窓口サービスの充実を図る。</p> <p>○図書館業務の中でも最も重要な業務であるレファレンス(調査相談業務)へ対応する。</p> <p>○図書館奉仕員を講師とした一般向けのブックコート講習会や本の修理講習会を実施し、図書館に親しんでもらう。</p> <p>○大人向け絵本の読み聞かせを行う。</p>	実績・成果	<p>○配置人数：12人 委嘱期間：平成31年4月1日 ～令和2年3月31日</p> <p>○レファレンス件数：64件</p> <p>○ブックコート講習会(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年5月30日 参加者：12人(修理講習も開催)</li> <li>・令和元年9月12日 参加者：8人</li> </ul> <p>○大人の英語絵本読書会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年11月22日 参加者：5人</li> </ul>
予算	<p>予算総額 19,548,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 18,663,000 円</p> <p>費用弁償 885,000 円</p>	決算	<p>決算総額 19,392,558 円</p> <p>(内訳) 報酬 18,662,400 円</p> <p>費用弁償 730,158 円</p> <p>※決算総額のうち18,000,000円は、国庫支出金</p>
課題	<p>経験を積んだ奉仕員の報酬の増がない、又、勤務時間が定められており研修会等に出席した場合時間外手当を出すことができない。</p>	今後の方針	<p>令和2年度より会計年度任用職員図書館奉仕員となったことで数年勤務の場合報酬の増となり、制限はあるが時間外手当の支給も可能となったが、制度が始まったばかりなので改善点の有無について検討していく。</p>

事業名	本館と分館の連携によるサービスの拡充		
概要	<p>蔵書数の少ない分館の利用者へ本館と同様に図書館サービスが受けられるようリクエストサービスを受け付ける。</p>		
計画	<p>○分館職員と連携を図りリクエストに対し、購入や他館からの借用で対応する。</p>	実績・成果	<p>○リクエスト受付数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川内分館：0件</li> <li>・大畑分館：18件</li> <li>・脇野沢分館：48件</li> </ul>
予算	<p>予算額 0 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p>
課題	<p>分館利用者が少ない。また、図書資料の管理や取扱についても分館によってばらつきがある。</p>	今後の方針	<p>除籍を進め、レイアウト変更し、新刊が目立つようにして利用者の増を目指す。図書資料の管理については、本館職員が定期的に各分館を訪問することで分館職員と協力して管理する必要がある。</p>

事業名	移動図書館車の運行業務委託		
概要	本館から離れた遠隔地に居住する市民へ移動図書館車を運行し、図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	○小・中学校、幼稚園、保育所、公民館、集会所等18ステーションに5月から12月まで毎週火～金曜日、年間107日運行を行う。	実績・成果	○運行期間 ・令和元年5月7日～11月28日 (105日運行) ※12月は回収のみ ○利用人数：1,990人 ○貸出冊数：6,715冊
予算	予算総額 826,000 円 (内訳) 委託料 826,000 円	決算	決算総額 824,040 円 (内訳) 委託料 824,040 円
課題	一般利用者への周知が行き渡っていない。	今後の方針	新たなポスターの作製、町内会に働きかけての周知を行う。



移動図書館車

事業名	相互貸借ネットワーク事業											
概要	むつ市立図書館で所蔵のない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出することで利用者のニーズに応える。											
計画	○利用者のリクエストに応じ、県内外の図書館の所蔵を調査し、借用依頼する。 ○他の図書館からの借用依頼にも対応する。 ○貴重な資料の閲覧が可能な国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を行う。	実績・成果	○相互貸借件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借受数</td> <td>683点 (県内:598点) (県外:85点)</td> <td>705点 (県内:633点) (県外:72点)</td> </tr> <tr> <td>貸出数</td> <td>344点 (県内:131点) (県外:213点)</td> <td>223点 (県内:154点) (県外:69点)</td> </tr> </tbody> </table> ○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス ・利用者数：延べ19人		令和元年度	平成30年度	借受数	683点 (県内:598点) (県外:85点)	705点 (県内:633点) (県外:72点)	貸出数	344点 (県内:131点) (県外:213点)	223点 (県内:154点) (県外:69点)
	令和元年度	平成30年度										
借受数	683点 (県内:598点) (県外:85点)	705点 (県内:633点) (県外:72点)										
貸出数	344点 (県内:131点) (県外:213点)	223点 (県内:154点) (県外:69点)										
予算	予算総額 170,000 円 (内訳) 手数料 170,000 円	決算	決算総額 119,252 円 (内訳) 手数料 119,252 円									
課題	新刊を相互貸借で依頼する際、一定期間貸出不可であったり、貸出期間が短いため利用者に不便を強いるので、新刊は相互貸借せずに購入したい。	今後の方針	新刊のリクエストの大多数を購入できるように、予算要求していく。									

事業名	障がいがある人へのサービス		
概要	視覚、聴覚等の障がいがある利用者への図書館サービスの提供を行う。		
計画	○大活字本や朗読CD等を十分に備えサービスの充実を図る。	実績・成果	○LLブック購入：6冊 ○大活字本購入：73冊
予算	予算総額 180,000 円 (内訳) 備品購入費 180,000 円	決算	決算総額 143,400 円 (内訳) 備品購入費 143,400 円
課題	大活字本はフォントや文字の大きさ等様々な種類があるので、選定が難しい。	今後の方針	貸出状況を確認しながら、利用者の借りやすい大活字本を購入していく。

事業名	主催事業の充実		
概要	各種事業を開催することで、図書館に親んでもらう機会を提供し、読書意欲の向上と来館者の増加を目指す。		
計画	○図書館展示ホールやあすなろホールを使用し、気軽に楽しめるコンサートを開催したり、図書館所蔵AV資料を使用し、児童及び一般向け映画の上映会を開催するほか、川島雄三監督映画上映会も実施する。  ○雑誌や図書の無料配布を主体としたブックフェスティバルや毎月テーマを替えて展示する図書の特別展示、貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリー等を開催する。  ○大人向け絵本の読み聞かせを行う。  ○詩、短歌、俳句、川柳の4部門において、創作に対する関心を高め、読書と創作のつながりを設けることと、読書意欲向上のため詩歌コンクールを実施する。	実績・成果	○日曜シネマ(月2回) 13作品 25回上映 参加者：340人 ○映画監督川島雄三上映会 ・令和元年6月8日 参加者：19人 ○図書館ギャラリーコンサート ・令和元年7月21日 参加者：36人 ・令和元年12月7日 参加者：58人 ○スタンプラリー ・下北ジオパーク 参加者：700人 令和元年7月20日～8月30日 ・読書週間 参加者：830人 令和元年10月27日～12月1日 ○ぬいぐるみお泊まり会 申込者：32人 ・令和元年10月17日～10月19日 ○ブックフェスティバル ・令和元年10月27日 ・工作教室 参加者：25名 ・雑誌等無料配布 参加者：136人 ・難読漢字検定 参加者：3人 ・ぬいぐるみお泊まり会写真展示 ○図書・雑誌付録抽選会 ・令和2年1月24日～2月11日 ・参加者：479人 ○大人の英語絵本読書会 ・令和元年11月22日 参加者：5人 ○むつ市詩歌コンクール ・募集期間 令和元年8月1日～9月10日 ・表彰式 令和元年11月24日 ・作品展示 令和元年11月23日～12月8日 ・応募作品数：3,581点 ・応募者数：2,281人 ・入賞者数：261人

予算	予算総額 358,000 円 (内訳) 報償費 172,000 円 消耗品費 135,000 円 消耗品費 円 映像資料上映許諾使用料 51,000 円	決算	決算総額 275,962 円 (内訳) 報償費 156,500 円 消耗品費 64,382 円 消耗品費 円 映像資料上映許諾使用料 55,080 円
	課題 事業によっては参加人数が少ない場合がある。		今後の方針 参加者が極端に少なかった事業は、開催時期や規模等の検討をしていく。



図書館ギャラリーコンサート

事業名	集会、講習、展示等への施設提供		
概要	市民の身近な学習・社会教育施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援をする。		
計画	○市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。	実績・成果	○集会施設の利用状況 ・集会室 : 170回 1,727人 ・会議室 : 182回 1,150人 ・視聴覚ホール : 17回 850人 ・展示ホール : 6回 1,169人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
課題	集会施設で使用している、家具やパネル等が傷んでおり使用する際、不自由なまま使用している。	今後の方針	備品の更新も必要なため、予算要求していく。

(3) 利用者ニーズに即した資料整備

事業名		図書資料の購入																																								
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、AV資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応えていく。																																									
計画	<p>○小説、思想・哲学、歴史、社会科学（教育、経済等）、自然科学（動物、医療）、技術（料理、工学）産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等、年度更新が必要な資料について、利用者のニーズに応じた購入を定期的に行う。</p>	実績・成果	<p>○購入数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般：1,985冊</li> <li>・児童：603冊</li> <li>・郷土：37冊</li> <li>・AV資料：16点</li> </ul> <p>利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>貸出数</th> <th>人数</th> <th>貸出数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>43,532</td> <td>147,422</td> <td>43,893</td> <td>144,869</td> </tr> <tr> <td>移動</td> <td>1,990</td> <td>6,715</td> <td>2,379</td> <td>8,307</td> </tr> <tr> <td>川内</td> <td>20</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>大畑</td> <td>437</td> <td>1,140</td> <td>480</td> <td>1,162</td> </tr> <tr> <td>脇野沢</td> <td>242</td> <td>490</td> <td>180</td> <td>394</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>46,221</td> <td>155,812</td> <td>46,965</td> <td>154,788</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度		平成30年度		人数	貸出数	人数	貸出数	本館	43,532	147,422	43,893	144,869	移動	1,990	6,715	2,379	8,307	川内	20	45	33	56	大畑	437	1,140	480	1,162	脇野沢	242	490	180	394	合計	46,221	155,812	46,965	154,788
	令和元年度		平成30年度																																							
	人数	貸出数	人数	貸出数																																						
本館	43,532	147,422	43,893	144,869																																						
移動	1,990	6,715	2,379	8,307																																						
川内	20	45	33	56																																						
大畑	437	1,140	480	1,162																																						
脇野沢	242	490	180	394																																						
合計	46,221	155,812	46,965	154,788																																						
予算	<p>予算総額 4,800,000 円</p> <p>(内訳) 図書購入費 4,800,000 円</p>	決算	<p>決算総額 4,769,260 円</p> <p>(内訳) 図書購入費 4,769,260 円</p>																																							
課題	傷んでいる児童書の買い替え、自然科学、技術分野の図書の更新が必要。	今後の方針	各分野の蔵書構成を見直して、部分的に更新していく。																																							

事業名		郷土資料の収集と情報の提供	
概要	郷土資料(郷土出身者、むつ市にゆかりのある人物を含む)を収集し、地域情報の集積機関として役割を果たす。		
計画	<p>○新規刊行される、むつ・下北関係資料については、可能な限り収集する。</p> <p>○収集していないものや絶版となっている資料についても古書店の情報や寄贈図書を受け入れるなど、可能な限り対応する。</p> <p>○市や県が発行する行政資料の収集に努める。</p>	実績・成果	<p>○出版社や地元書店等から情報提供を受けながら資料を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入：37冊</li> <li>・寄贈：214冊</li> </ul>
予算	<p>予算総額 200,000 円</p> <p>(内訳) 図書購入費 200,000 円</p>	決算	<p>決算総額 249,888 円</p> <p>(内訳) 図書購入費 249,888 円</p>
課題	形態が様々で装備に材料と時間がかかるため、古い資料ほど登録が進んでいない。又、保管場所が少なくなっている。	今後の方針	保管場所確保のため、書庫の改修を計画していく。

※予算総額・決算総額については、事業名「図書資料の購入」の再掲額。

(4) 子どもの読書活動の推進

事業名	子育て・子ども向け事業の開催		
概要	あるテーマに沿った図書や季節に関連した図書の展示をして子どもたちの読書活動の意欲を高める。 図書館見学や映画上映会、工作教室を企画し、図書館に親しむ機会をつくり、読書推進へつなげる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の特別展示・季節の展示</li> <li>○子ども見学ツアー</li> <li>○「夏休み子ども映画劇場」</li> <li>○「冬休み子ども映画劇場」</li> <li>○夏休み工作教室</li> <li>○冬休み親子工作教室</li> <li>○10ヶ月健診への協力・3歳児健診への協力</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別展示:23回・季節の展示:21回</li> <li>○子ども見学ツアー <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年5月5日 : 5人</li> </ul> </li> <li>○「夏休み子ども映画劇場」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年8月3日 : 75人</li> <li>・令和元年8月4日 : 9人</li> </ul> </li> <li>○「冬休み子ども映画劇場」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年12月21日 : 22人</li> </ul> </li> <li>○スライム時計づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年8月6日 : 14人</li> </ul> </li> <li>○ペットボトルペンケースづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年1月9日 : 6人</li> </ul> </li> <li>○10ヶ月健診時に乳児の図書館カード作成 : 19人</li> <li>3歳児健診時に絵本の閲覧</li> </ul>
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 消耗品費 30,000 円	決算	決算総額 36,760 円 (内訳) 消耗品費 36,760 円
課題	幼児・児童対象の子ども映画上映の素材が減少しており、選定に苦慮している。	今後の方針	映画上映単独でなく、おはなし会等と併せての開催も検討していく。

事業名	おはなし会等の開催		
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもたちの読書推進を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎週土曜日「おはなし会」</li> <li>○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はるのひのおはなし会</li> <li>・あきのひのおはなし会</li> <li>・ふゆのひのおはなし会</li> </ul> </li> <li>○「こわいおはなし会」</li> <li>○英語のおはなし会</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○午後2時～2時30分 48回 : 延べ332人</li> <li>○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年 5月18日 : 15人</li> <li>・令和元年10月19日 : 27人</li> <li>・令和元年12月14日 : 31人</li> </ul> </li> <li>○「こわいおはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年 7月26日 : 33人</li> </ul> </li> <li>○英語のおはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年 4月20日 : 33人</li> <li>・令和元年12月21日 : 19人</li> </ul> </li> <li>ミニ英語のおはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年12月21日 : 15人</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 20,000 円 (内訳) 消耗品費 20,000 円	決算	決算総額 31,807 円 (内訳) 消耗品費 31,807 円
課題	こわいおはなし会は準備の割に参加者が年々すくなくなっている。	今後の方針	こわいおはなし会のリニューアルを検討していく。



季節の「おはなし会」

事業名	学校への支援・協力		
概要	学校図書館運営の助言及び支援業務を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館運営の相談を希望する学校に対し、助言及び支援を行う。</li> <li>○学校からの見学・職場体験の受入 市内及び郡内の学校及び幼稚園から図書館見学・職場体験学習を連絡調整し受け入れる。</li> <li>○県立図書館の協力図書貸出事業 県立図書館が所蔵する「協力図書」を活用し、希望校に各500冊を上限に借受した本を配付することで、学校図書の充実に協力する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一田名部小学校 (図書館ボランティアへの助言) ・令和元年11月14日</li> <li>○施設見学 220人 ・小学校 (7校) : 206人 ・養護学校 (1校) : 3人 ・社会福祉施設 (1施設) : 11人</li> <li>○職場体験 15人 ・中学校 (2校) : 4人 ・高校 (3校) : 9人 ・養護学校 (1校) : 1人 ・短期大学 (1校) : 1人</li> <li>○協力図書 : 5校 2,018冊</li> </ul>
予算	予算額	0 円	決算額 0 円
課題	県立図書館の協力図書貸出事業の選定、運搬が業務過多になってきている。職場体験の時期が重なり、一部の学校しか受付できない。	今後の方針	協力図書の運搬、選定の効率化を検討していく。

◇点検・評価対象一覧

重点項目		重点項目の内容	具体的な事業	頁	
1	安全・安心で夢を育む教育環境の整備	学校統合による通学手段の確保 学校改築等施設・設備の整備 学校教材等の充実 まさかり高校、下北Projectの推進	スクールバス運行管理事業	9	
			教育用パソコン等貸借事業	10	
			関根中学校解体事業	10	
			新入学児童用防犯ブザー購入事業	11	
			まさかり高校医学部進学・特進コース事業	11	
			下北Project（学びのイノベーション）事業	12	
			その他小中学校の施設・設備の整備事業	13	
2	教職員の適正・適切な配置	学校現場の実情の的確な把握 異動方針及び要項等の適正な運用	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	13	
3	通学区域制度の適切な運用及び再編	通学区域制度の運用の適切なあり方に関する調査研究・検討 通学区域の再編に係る調査研究・検討	むつ市通学区域審議会の設置	13	
4	学校規模の適正化に係る研究・検討	複式学級の解消、その他の学校規模の適正化に係る調査研究・検討	学校規模適正化のための地域説明会等の開催	14	
1	5	就学困難な児童生徒等に係る就学援助	要保護児童生徒援助事業	14	
			準要保護児童生徒援助事業	15	
			医療的ケア児童生徒就学支援事業	15	
			特別支援教育就学奨励事業	16	
6	コミュニティ・スクール制度の推進	学校運営協議会の導入・推進	学校運営協議会の設置	16	
7	奨学金制度の充実	奨学金制度に係る住民への啓発 奨学金事業の推進 奨学金制度の充実化に係る調査研究・検討	奨学金貸付事業 次代を担うプラチナ人材育成プロジェクト（未来人材育成奨学金プロジェクト）	17 17	
8	学校保健の充実	学校保健会及び関係団体と相互協力を図る 学校保健事業に係る学校施設整備の安全点検・安全管理の徹底	健康診断委託事業	18	
			学校医委託事業	18	
			学校災害共済給付事業	19	
			学校保健会補助事業	20	
			学校災害入院補償事業	20	
9	学校給食の充実	学校給食施設の充実 学校給食衛生管理の徹底 児童・生徒の食生活の改善と体位向上	学校給食管理事業 学校給食設備整備事業	22 22	
1	生涯学習の推進	生涯学習・社会教育諸計画の立案・調査・研究 社会教育事業に関する相談・指導体制の充実 各種講演・講習会等の開催 生涯学習関連団体との連携強化	社会教育委員の配置	23	
			社会教育指導員による学習支援	23	
			成人式の開催 自然観察会の開催	24 24	
2	学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	家庭教育推進の支援 学校と地域協働による教育活動の推進	放課後子ども教室推進事業	25	
3	社会教育施設の機能充実	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営 むつ市下北自然の家の管理・運営	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営 むつ市下北自然の家の管理・運営	26 27	
2	4	芸術鑑賞機会の提供 文化活動の推進と関連団体の育成	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	28	
			東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	28	
			むつ市文化団体等支援事業	29	
	5	郷土の文化遺産の保護・保存と活用	文化財の保存と活用 文化財の調査・研究 天然記念物の保護	文化財保護審議会の設置	29
				民俗芸能の保存と伝承活動の支援	30
				文化財収蔵庫の管理・運営	30
				北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援	31
				埋蔵文化財発掘調査事業 自然調査事業 文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業 重要文化財保存修理事業	31 32 32 33
1	小中一貫教育の充実	小中一貫教育ブロック研究の推進 9年間の教育課程の研究推進 小中一貫教育非常勤講師の配置と活用	小中一貫教育推進事業	35	
			むつ市小中一貫教育推進委員会	36	
			小中一貫教育非常勤講師配置	36	
2	質の高い教育課程の創造	指導の方針と重点の周知徹底	指導の方針と重点に関する指導・支援事業	37	
3	3	学力向上対策の充実	学力調査・知能検査事業	37	
			活用力育成講座等の開催	38	
			学力向上関係研究大会参加 デジタル教科書購入	38 39	
			新聞を活用した学習への支援事業	39	

	重点項目	重点項目の内容	具体的な事業	頁
3	4 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	学校環境適応感尺度「アセス」の実施 むつ市いじめ防止基本方針に基づく対策の点検及び評価 いじめ防止に向けた行動宣言	生徒指導検査実施	40
			いじめ問題対策委員会開催	40
			むつ市いじめ防止宣言フォーラム開催	41
	5 特別支援教育体制の充実	スクールサポーターの配置と活用 教育支援・就学相談の充実 特別支援教育推進委員会の充実	スクールサポーター配置事業	42
			就学事務説明会・就学相談研修会開催	42
			特別支援教育推進委員会開催	43
	6 教育相談活動の充実	むつ市教育相談室の充実	むつ市教育相談室開設	43
			自立支援相談員配置事業	44
			適応指導教室開設	44
	7 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進	外国語指導助手（ALT）の配置と活用 国際交流事業の推進 地域理解の促進	外国語指導助手（ALT）派遣事業	45
むつ市ジュニア大使派遣事業			45	
中華民国陽明国民中学との友好交流事業			46	
ジオパーク体験活動推進事業			47	
8 教育研修センター講座等の充実	教職員研修講座の充実	教職員研修講座開設	47	
		教育研修センター講座等連携	48	
		ラボ・パス実験教室	48	
9 弘前大学との連携強化	センター講座との連携強化 学生との交流 健康課題の解決	「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	49	
		むつ市子ども夢育成基金	49	
		むつ市子ども議会	50	
10 キャリア教育の充実	児童・生徒の夢をはぐくむ体験の充実 ゲストティーチャーによる講演会の開催	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学	50	
		関係機関との連携（理科教室、海洋教室）	51	
		キャリア教育推進事業	52	
		キャリア教育推進事業	52	
4	1 公民館の適正管理と運営の充実	中央館・地区館の管理運営体制の確立 公民館運営審議委員・少年教育指導委員の事業参画 公民館施設・設備の整備	地区館長会議の開催	54
			ジュニアリーダー研修会等各種事業参画	54
	2 公民館事業の推進	市民大学事業の充実 成人教育事業の充実 婦人教育事業の充実 青少年教育事業の充実 分館活動の充実	市民大学及び各種講座開設事業	55
			新田地域ふれあい学級開催	57
			婦人学級開催	58
			子ども向け各種講座開設	59
			分館長会議・分館地域づくり講座開催	60
			こども仕事体験館「GOOD JOB（グッジョブ）!!」	60
	3 社会教育団体等の育成支援	社会教育団体の自主性・自立性の確立 サークル活動の推進 社会教育指導員の有効活用	各団体への指導・助言	61
			公民館まつりの開催	61
4 生涯学習関連施設等との連携促進	下北地方公民館連絡協議会との連携 大学等高等教育機関との連携 社会教育団体との連携	社会教育指導員配置事業	63	
		下北美術展の開催	64	
		市民大学一日体験入学	65	
		子どもネプタ合同運行支援	65	
5 視聴覚ライブラリーの活用	視聴覚教具・教材の利用促進	かきぞめ大会の開催	65	
		広報等によるPR強化	66	
5	1 図書館施設の適正管理	施設・設備の効率的な維持管理 安全、安心を第一とした施設管理	図書館施設・設備の保守管理業務委託	67
			図書館施設・設備の改修及び修繕	68
	2 図書館サービス活動の充実	図書館協議会の設置 図書館奉仕員の配置と活用 本館と分館の連携強化 移動図書館車の効率的運行 公立図書館との相互貸借ネットワークの活用 障がい者サービスの充実 企画事業の展開 施設の提供・活用の充実	図書館協議会の開催	68
			図書館奉仕員の配置による相談業務及び企画事業の充実	69
			本館と分館の連携によるサービスの拡充	69
			移動図書館車の運行业務委託	70
			相互貸借ネットワーク事業	70
			障がいがある人へのサービス	71
			主催事業の充実	71
			集会、講習、展示等への施設提供	72
3 利用者ニーズに即した資料整備	基本図書・新刊図書の充実 寄贈図書の積極的活用	図書資料の購入	73	
		郷土資料の収集と情報の提供	73	
4 子どもの読書活動の推進	子どもの読書活動推進事業の展開 読み聞かせボランティアの育成と活用 学校図書館支援及び見学・職場体験の受け入れ	子育て・子ども向け事業の開催	74	
		おはなし会等の開催	74	
		学校への支援・協力	75	